



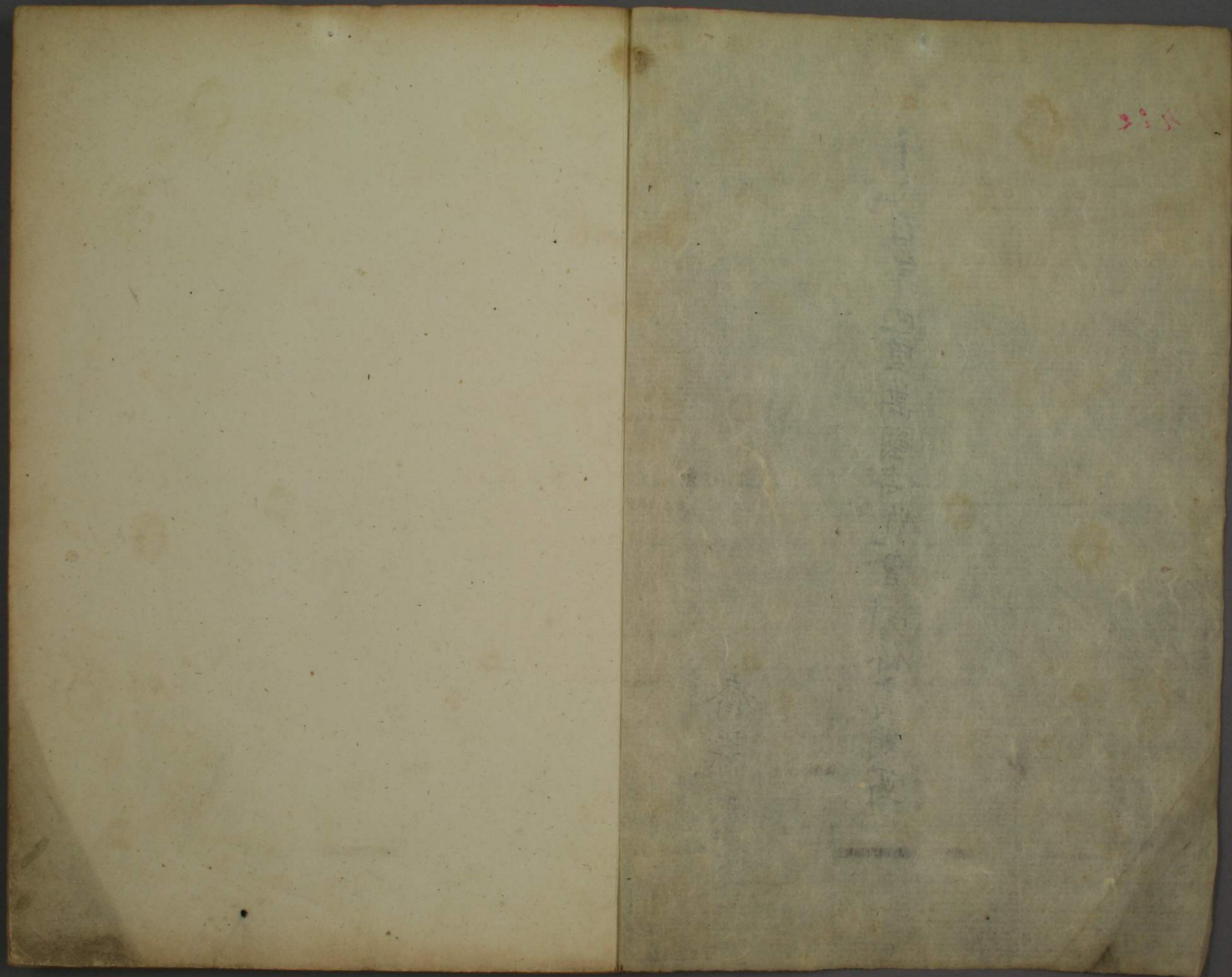
212

千九百年巴里萬國博覽會關係書類寫

齋藤手控

示 1
3995
2





日本
2008
S



三十二年五月十八日

アンヴァリトトニ於テ付屬地積請求ニ関シ景
安達事務官ノ電信ニ対スル返電ノ件本邦風俗等

安達事務官ヨリコアンウアロード植込地ニ於テ付屬
地請求ノ義ニ付電報有之タルヲ以テ左案ヲ以テ通
電相成可然哉

案際上失体ノ慮ニ可無ク夫況ヒテ其一
週景中ハ我々ノ不体裁ノ事有之同敷相信

*Obtenir sans qu'on s'en aperçoive autant
le terrain que possible pour au trois
mille matras sans pas de trop*

Layrali

門本(3995 2

譯

植込地ニ於テ出来得ル丈ケ地積ヲ取リ盡クベシ
二三千ノートル請求スルモ過
クナラズ

早稲田大学図書館
昭和24.5.6
購 入 券

「ヤンヤリ」ニ於テ此種請求ニ對シ

巴里博覽第四号

三十一年五月十八日

御承知ノ「ヤンヤリ」汽船會社ニ於テハ世界一週景
(*See Tour de monde*)ナルモノヲ大博覽會ニ催フシ本邦風俗等
ヲモ多少之レニ加フルノ計畫ナル旨聞及美慶右ハ責任ア
ル大會社ニテ純粹射利ノ目的ヲ以テ立案シタルモノニ非
ズ單ニ收支相償ヘハ足レルトノ方針ニシテ同社航海業廣
告ノ為ニ當政府ノ間接的勸誘ニ基キタルコト本官ノ承知
スル所ナルニ付實際上失体ノ廉モ可慮之矣從ヒテ其一
週景中本邦ニ関スル分モ不体裁ノ事有之間敷相信
美得共有ハ我ノ承認ヲ求メシムルヲ得ヘキモノニ付過日當
事務局ニ出頭テ本件ニ該及致美慶同社ノ計畫中
本邦ニ関スル案ハ不日本官ニ移牒スルモノト相成美間
其折ハ莫急更急可及上申美敬具

其詳ハ查明迄三十一年三月三十一日迄具

本邦ハ因テ其ノ在巴里ニ安否事務官長殿

臨時博覽會事務官長殿

其ノ中本邦ハ因テ其ノ在巴里ニ安否事務官長殿

臨時博覽會事務官長殿

其ノ中本邦ハ因テ其ノ在巴里ニ安否事務官長殿

臨時博覽會事務官長殿

三十一年五月十八日

巴里博覽第廿九号

三十一年五月十八日

當地トロカテロ庭園内我邦ノ為ニ番保シタル二千六十二平方
メートルノ儀ハ隨分高低有之矣ニ付我建物築設上不便
モ可有之存矣ニ付過日ピカール氏ニ面談、折我ニ於テ
右地所ヨリ平面ニ大ルコト差支無之哉相尋申其處右ハ無
論何等差支無之矣得共五六ノ樹木ヲ取去ルベシ、當市ノ
決議上不行決案来ルヲ如何ニセシ(本官第廿九号信系照)云々相
答ヘラレ其ニ種本官ハ博覽會ニ相濟シタル後日本政府
於テ右樹木ヲ原位置ニ植直スコト、七八一時之ヲ取去リ
ルコト格別差支有之間敷旨相述矣得共同氏ハ右ノ實
際困難ニ其コトナレバシ、而シテ高低下ル地面ニ家屋ヲ建
築シ園庭更設クベシ、種々美術ニ其ヲ當佛國下於テ
モ「高リ山」殖民地ハ其ノ高高低甚ク、其地面ニ其

此佛國建築家其高低ヲ利用シ既ニ巧妙ナル考案
ヲ立テタル實際家日本ノ建築家ニ於テモ同様可然
考慮ヲ費ヤサレハ土地ノ高低ハ却テ其技拙ヲ發揮
スルテ原料上可相成旨相答ハレテ其依テ右地所ノ馬
低ヲ平面本スルコト多ク難被行儀上被察美此段為
御参考申進美敬具
明治三十一年三月三十日
安達事務官官市
臨時博覽會事務官長殿
巴里博覽會事務官長殿
三十一平五月十八日

巴里博覽第廿三號

三十一年三月二十三日

第十四號末項ニ於テトロカテロニ本邦ハワイオンノ為テ配付ヲ受
クル地面ノ位置等ニ付テハ製圖家ノ囑托ノ上精確ナルモ調
製ノ上可差進旨申進置美処今敢出來致美ニ付來ル十
三日當國マルセイユ發佛船ニ托シ差進美間御查收被下
度美將又其外見ノ模様等ニ関シテハ兼テ第一七五号ヨ
リ久保田出品課長ヨリ御申越ノ次第モ有之且ツ頗ル有
益ナル事柄ト信美付同製圖家ノ囑托ノ上水繪ヲ調製セシ
ノ同便差進美間御查收相成度美右ニ品ニ関スル費用
ハ別紙正當領収証書所顯ノ通り佛貨四百法ニ有之本
官ニ於テ立替置美間便宜御償還相成美様致美敬
具

明治三十一年三月二十七日

東京博覽會事務官安達本一
臨時博覽會事務官長
謝辭會事務官長
巴里博覽會事務官長

明治三十一年三月十日
巴里博覽會事務官安達本一

本會ニ對シテ可成り目録ニテモ其趣具
ニ傳テテ為スルニ可成り目録ニテモ其趣具
會中ニテモ其趣具ニテモ其趣具
巴里博覽會事務官長
三十一一年四月二十一日

巴里博覽第廿一号

三十一年三月二十三日

客歲十二月十五日付第三三五号ヲ以テ本邦古美術
出陳ニ関スル方針委曲却來示相成リ當國其筋ノ
向ニ對シ少カラサル好感情ヲ惹起シタル次第ハ前
便第十九号ヲ以テ申進置矣處當地新聞記者輩
ニ於テハ何処ヨリ聞出シタルニヤ本邦古代美術出陳ノ事
ヲ記載シタルモノ夫ノ「フタヘ」新聞ヲ始トシ其數不尠
其叙事中ニハ別紙ニ於テ夫々御覽ノ通り事實上ノ誤
謬モ有之矣得共本邦ニ於テ古美術ヲモ出陳スルノ趣
意ヲ喜ヒ之ヲ賛成スルノ点ハ皆一樣ニ有之矣聞別紙
切抜六枚添付ノ上為御参考此段申進矣也敬具

明治三十一年二月七日

品香軒會事務官在巴里臨時博覽會事務官安達本一

臨時博覽會事務官長
臨時博覽會事務官

臨時博覽會事務官

六月廿九日

明治三十年五月十一日 出品課長

總裁 (大隈) 副總裁 (大隈)

文書課長 (大隈) 庶務課長 (大隈) 會計課長 (大隈)

明治三十年五月十一日 出品課長

日本製茶店開設廣補助金七萬圓
萬田國庫下附額之件計前如左
茶業組合中央會議所

30. 5. 27
受 27

右別紙之通系業組合中央會又長大谷
嘉兵衛ヨリ願出有之該喫茶店補助之
儀ニ就 而ハ昨年 未臨時博覽會評議負
會開設之許同會ヨリ建議之次才モ有之
旁以本出願之次才ハ何分ニ由 詮議ヲ要
スル義ト存居共前條評議負會ニ許
尚他ニ賣店補助之儀ニ就 而モ建議ノ
次才有之是亦同様由 詮議ヲ要スル儀
ト被存而シテ右等補助之費用ハ勿論
臨時博覽會費中豫算無之追而
議會ハ請求其協賛ヲ得 戻上ナラテハ
何分ニ由指合難相成儀ニ付別紙願
書ハ姑ク其儘取置 戻追 而賣店補

六月廿七條

助件等ト取束子何分ニ由 詮議ヲ附シ
相同可然哉別紙供閱旁此段仰
高裁

請願書

茶園地

茶園地

謹之茲全國茶業代表者決議其具之敢
 本請願書之陛下呈之所以元之他之
 素之明治三十三則之西曆一千九百零九年
 里之於之開設之方國大博覽會場日本喫
 茶店之設立之計畫之對之特殊之政府之補
 助之仰之是之是之是之是之是之是之是之
 惟之該博覽會之方國之於之生產品茶葉之極
 盛之競之現世紀物質之文明之精華之網羅之
 之之後世之發輝之絶大之偉業之今日之
 之豫想之勝之而之我之幸之之敏捷之
 餘光國勢之昂之特有之生產品之
 為之光彩之放大之序内之耳目之奪之

此ノ進運ニ際會ニクテ下安ニ此最大好機會ヲ
利用シテ我國産ノ品位ヲ發揮シ以テ海外貿
易ノ擴張ヲ誘致シ國富増進ノ根源ヲ養ハス
シテ可ナランヤ蓋シ政府ノ該博覽會出品者ニ對シ
特ニ保護ヲ加テ鼓舞ノ激勵セラルルノ方針ヲ執
ラレントスル所以ノモノ又此大主意ニ外ナキ乎
然リ而シテ我輸出主要品タル製茶ノ如キ此好
時機ニ乘リテ當業者多クノ宿望タル歐洲販
路擴張ヲ企圖セサルヘカラサルヤ敢テ喋ク要セ
サルナリ是ニ於テ我當業者ハ本年度中央會議
ニ於テ該博覽會場ニ日本喫茶店ヲ開設スルノ
計畫ヲ議定セリト雖比其目的ノ遠大ナルコトヲ
營利以外ニ立テ其成功ヲ究フセント期スルヲ以テ

當業者ノ現状ニ在リテハ自力單行ノ克ク企及スヘキ
事業ニ非ス是レ特ニ政府ノ補助ヲ請フノ止ムヘカ
ラサル所以ニ在リ夫レ製茶系統販路擴張策トシテ喫
茶店ノ設置如何ニ鴻益アルカト自量ニ當業者ヲ施
致シタル市俄古博覽會ノ成績ニ徴スルニ明白ナル事
實ニシテ閣下ノ知悉セラルル處今更ニ多クテ要セスト
雖比試ニ這般ノ計畫ニ就テ其重ナル点ヲ列舉ス
レハ實ニ左ノ如シ

一 佛國ノ歐洲文明ノ淵源ニシテ世界ノ好尚ノ中
心ナリ故ニ同國ニ於テ本邦製茶ノ特性ヲ顯揚シ
名産ヲ博取スルハ即チ全世界ニ向テ販路ヲ
伸張スル唯一ノ捷徑ナリ

一 素來明治三十三年佛國大博覽會ニ所謂世

界、有目ヲ集中スルヲ俾奉テルカ故ニ此最大
 好機會ニ投シテ日本茶ノ高尚ナル真味ヲ方國
 ノ公衆ニ周知セシムルノ方法手段ハ要スルニ喫茶
 店ノ開設ヲ措テ又他ニ良策アルコトヤシ
 一 欧西人民ニ我日本茶ノ好尚ヲ知ルモノ極ナラ罕レテ
 一 此故ニ純良ナル製茶ヲ彼等ニ味ハシメテ我固有
 ノ趣味ヲ解シセシメテ以テ其嗜好ヲ喚起セシムルコト欲セハ
 品質優著ナル緑茶及紅茶ヲ供スルハ更ニ優
 美高雅ナル日本風喫茶店ヲ建設セサル可ラス
 一 製茶ノ單ニ陳列品ノミヲ以テ顧客ヲ惹キ得ル
 モノニ非ルヤ言テ候タス是レ喫茶店事業ニ力
 ヲ注カント欲スル理由ナリ
 一 印度及錫蘭茶ノ競争ニ對シテ進界の勢力

示シテ以テ我販路ヲ維持シ他ニ彼ノ根拠タル欧西
 需用地ニ對シテ攻勢ヲ取ルハ本邦茶業上ノ長策
 ニシテ實ニ目下ノ急務ナリ
 以上ノ其大要ヲ叙述シタルニ過キスト多ク亦以テ喫
 茶店事業ノ有益ヲ示シテ洞察セラル、ニ足ルヤシ
 然ルニ退テ按ズルヤハ佛國博覽會ニ如キ世界ノ真
 倉ヲ競ヒ天工ヲ奪フヤキ雄大壯麗ナル会場ニ於テ
 日本喫茶店ノ面目ヲ保シ人ニモテス我特有ノ品
 位高尚ヲ發揚セシムコト欲スルハ勢ヒ之レニ相當スル經
 費ヲ投シテ方遺算ナキヲ期セサルベカラズ既ニ臨時
 博覽會評議負會ニ於テ此計畫ヲ必要ト認
 ヲケタルト同時ニ該費用ノ具ニ顧慮セラレタルモ
 尤ク如ク之レカ為メニ特殊ナル補助ヲ政府ニ建議セラレタル

七種... 日本博覽會事務卷
明治三十三年(一九〇〇年)巴里万国大博覽會
日本博覽會事務卷

334

別紙 中央會議決議局

明治三十三年(一九〇〇年)巴里万国大博覽會
層日本博覽會事務卷開設費豫算
一 金拾万圓也 支出總額

內譯長

一 金九万七千圓也 日本博覽會事務卷設置費
一 金五万千圓也 協議委員及事務費
一 金七千圓也 借入金利息
一 金拾万圓也 收入總額

內譯

一 金七万圓也 政府補助金
一 金參万圓也 明治三十三年(一九〇〇年)巴里万国大博覽會事務卷

其然)故、我輸出主要品タル製茶、如キ此ノ好模ニ
象ニテ當業者多ク、宿望タル歐洲販路擴張ヲ
企圖セザルベカラサルヤ歟、言フ俟タザルナリ、是、於テ亦、當
業者ハ本年度中、中央會議ニ於テ該博覽會、日
本喫茶店ヲ開設スルノ計劃ヲ議定シ以テ之ヲ遂行
セントス然レモ其目的、遠大ナル而已、ラス當利以外ニ立
テ其成功ヲ完フセザルヲ以テ當業者ノ現状ニ在リテ獨
立單行ノ企テ克ク達シ得ベキモノニアズ、(我カ茶業組合
ハ現時益海外ノ販路ヲ擴張セシカ為メ別紙參考書ニ掲
クルカ如ク、年々其費用ヲ递增シ本年、如キ各府縣聯
合會議所經費、製茶荷物一個ニ月金拾銀ヲ要
シ又其中央會議所ノモノニテモ從來茶荷物一個ニ月金
三銀ヲ徵收セシモ本年度ニ至リテ遽ニ三倍即チ金九銀

十、茶ノ物價騰貴、今日豈僅少ナル負擔ナリトシテマシ
ヤ)是レ特ニ政府ノ補助ヲ請フノ止ムベカラザル所以若シ
夫レ製茶新販路擴張策トシテ喫茶店ノ設置ハ如何ニ
増益アリシカハ日曩ニ當業者カ施設シタル市價古博覽
會ノ成績ニ徵スルモ明白ナル事、實ナリ在、其要矣、予嘗
シテ、
第一、喫茶店ノ構造ハ本邦家屋ノ標準ニタルモノナリ
外人ノ耳目ヲ集中シ自然外人ヲテ停足セシ
メ、
第二、停足ニタル外人ハ始メテ我カ製茶ノ真正純
良ナル味ヲ知悉シ大ニ好評ヲ與ヘタリ、
第三、故ニ目下彼國ニ於テ印度錫蘭カ非常ナル
運動ヲシ他國ノ製茶ヲ攻撃排斥シ為ニ支那茶ノ

如キ年一季衰退シ殆トノ究境ニ陥リタリ
 第四 支那茶ノ如キ殆トノ究境ニ陥リタルニモ拘ラズ
 其價格ノ昇騰シタル事實ハ別表ヲ以テ証スルコト
 得ベシ

第五 執中特筆大著スベキハ喫茶店設置後ニ
 於ケル直輸出額ノ増加シタル殆ト六倍ノ多キコト
 及ヘリ

以上掲グル處ノ如シ豈其レ顯著ナル効績ニアラズトセシヤ
 由是觀之其喫茶店設置ノ効ヲ奏シタル喋々ヲ要セ
 カルナリ故ニ這般ノ計劃ヲイヌニ當リテモ專ラ志加古
 喫茶店設置ノ例ニ倣ヒ此レカ設計ヲナシテ試ニ其
 重ナル点ヲ列舉スルハ

一佛國ノ歐洲文明ノ中心ニシテ世界的好尚ノ模範

タリ故ニ同國ニ於テ本邦製茶ノ特性ヲ顯揚シ名
 聲ヲ博取スル中ハ即チ全世界ニ向テ販路ヲ伸張
 スベキ唯一ノ捷徑タリ

一素ハ明治三三年ノ佛國大博覽會ニ所謂世界ノ
 耳目ヲ集中スルニテ中ニ傳譽ノルカ故ニ此最大好機
 會ニ投ニテ日本茶ノ高尚ナル真味ヲ萬國ノ公衆
 ニ周知セシムルノ方法ヲ取ニ要スルニ喫茶店ノ開設
 ヲ措テ復他ニ良策アルコトヲ論テ

一歐洲人民ハ我日本茶ノ真味ヲ知ルモノ極メテ稀ナ
 リ此故ニ純良ナル製茶ヲ彼等ニ味ハシメ我固有ノ
 趣味ヲ解セシムル以テ其嗜好ヲ喚起セシムル欲セバ品質
 優等ナル日本茶ヲ供スルニ更也勉メテ優美高尚
 尚ナル日本風喫茶店ヲ建築シ以テ其耳目ヲ集

中一セシ水ガルヘカラス
一製茶ノ第一ニ陳列品ノ一ヲ以テ顧客ヲ得ヘキモノニ
非サルヤ言フ俟タズ是レ喫茶店事業ニ力ヲ注キ
以テ日本茶特有ノ真味ヲ知ラシメント欲スル理
由ナリ

以上其大要ヲ叙述シタルニ過キスト雖此亦以テ喫茶
店事業ノ有益多利ナルヲ洞察スルニ足ルベシ然
ルニ退テ按スルハ佛國博覽會ノ如ク世界ノ豪
奢ヲ競ヒ天工ヲ奪フベキ雄大宏壯ナル會場ニ於テ
日本喫茶店ノ面目ヲ保ツノニナラズ我特有ノ
高尚ナル品位ヲ奏揚セんと欲スル勢ヒ之レニ相當
スル經費ヲ投シテ萬遺算ナキヲ期セサルヘカラス既ニ
臨時博覽會評議員會ニ於テ是レ此計劃ヲ必要ト

認メラレタルト同時ニ其費用ノ点ニ顧慮セラレタルモノニ如
ク之ガ為メニ特殊ナル補助ヲ政府ニ建議セラレタルモノナ
ラト信ス果シテ然ラハ政府ニ於テ是レ此國家的事業ヲ成
功セシムル為メ該評議員會ノ建議ヲ嘉納シテ以テ
全國茶業者ノ懇望ヲ遂行セシムラルベキヲ信シテ疑
ハルナリ
仰キ願フ以上開陳ノ主意ヲ採納セラレシ該博
覽會喫茶店開設費ノ補助トシテ金七萬圓
下賜アラレテ懇請ノ至リニ堪ヘス依テ別紙喫
茶店設置豫算書相添ヘ此改革追願也
明治三十一年五月十六日

茶業總局中央會務所
事務員 相澤養兵衛

茶業組后中央會議之附

議長 大谷嘉加兵衛

一、關於茶業之調查及整理
二、關於茶業之改良及推廣
三、關於茶業之教育及訓練
四、關於茶業之保險及救濟
五、關於茶業之展覽及宣傳
六、關於茶業之研究及開發
七、關於茶業之合作及組織
八、關於茶業之國際交流及合作
九、關於茶業之其他事項

明治三十五年巴里万国博覽會

喫茶店設置豫算書

全拾万八千五百六拾九円也

明治三十五年巴里万国博覽會

喫茶店設置豫算書

全拾万八千五百六拾九円

全拾万八千五百六拾九円
全七万多拾九円
全五万多拾九円

茶店設置豫算書
全拾万八千五百六拾九円
全七万多拾九円
全五万多拾九円

附刊博覽會事務

茶葉想后... 大谷嘉品兵衛

茶葉... 置置算算

茶葉... 置置算算

Blank columns for notes or calculations.

明治... 博覽會

喫茶店設置... 算算

金拾万... 六拾九円也

金内... 味置費

金壹万... 築具費

金壹万... 築具費

金壹万... 築具費

金壹万... 築具費

金壹万... 築具費

金壹万... 築具費

金壹万... 築具費

金壹万... 築具費

附刊博覽會事務

金百五拾圓

提灯百個 買上代 每百個

金五拾圓

座蒲團廿枚 買上代 每廿枚

金八拾四圓

國旗幟十個 買上代 平均一本 每十本

金四拾五圓

抹茶器及煎茶器各十組 宛

金四拾圓

茶臺菓子盆各百個 宛

金五拾圓

烟草盆廿個 宛

金四拾圓

幕二張 床前裝飾代

金五拾九千零六拾五圓

消 耗 費

此譯

金四千九百五拾圓

製茶置上代 但配布茶十每入十六個

金七千五百圓

景物品拾五個 一個金五元 宛

金壹千五百圓

砂瓶壹牛乳代 一人一

金壹千五百圓

茶菓子拾五斤 一分五元 宛

金七千五百圓

魔氣及瓦斯代

金壹千五百圓

抹茶及見本茶置上代

金壹千五百圓

雜費

金八千四百五拾圓

廣 告 費

此譯

金八千四百五拾圓

印刷費 但廣告用冊數十五萬部

金壹千五百圓

金一千圓 宛

金三百圓

庭 園 費

此譯

金三百圓

樹木買上代 運搬費 宛 金共

金壹千五百圓

金壹千五百圓

一屋港万四千四百円

派遣委員費

此譯

金港万四千四百円

派遣委員四名旅費、手当、仕度料

一屋港万五千六百九拾円

雇

総計

此譯

金七千九百九拾円

佛國人七名雇総計

一屋五千六百円

大工二人

金五千八百円

庭園師一人

一屋千五百円

借家賃料

此譯

金千五百円

借家賃料

一屋八千四百七拾五円 運業搬経費費

此譯

金五千九百九拾五円

汽船及汽船賃四、五、八、三、五、六

神 金五千九百九拾五円

荷運造

賃三六〇、六、六

長 金港千円

巴里市内運搬費五〇、二、八〇

詩 金

一四一六〇、三五〇、廣島

一四七三、五、九、五

一屋港千五百円

通川備

費六〇〇

此譯

金港千五百円

電線郵道水溝材料等

一屋七千六百円

稅

金五、六〇〇

此譯

金七千六百円

稅

金四、三、六〇〇

金七千六百円

稅

金四、三、六〇〇

一、金港午月

協議 費

金港午月

協議 費 負擔費及日考

但支給ノ方法ハ議負相當

一、金五午月

豫 備 費

一、金六午月
一、金七午月
一、金八午月
一、金九午月
一、金十午月
一、金十一午月
一、金十二午月

明治二十八年年度各府縣茶業組合經費概畧

| 府縣 | 項 | 額 | 合計 |
|----|-----|----------|---------|
| 橫濱 | 有縣項 | 九四五六五八五 | 二四九八三五六 |
| 神戶 | 有縣項 | 一八八六八八四 | 六七六 |
| 長崎 | 有縣項 | 一〇四九〇〇 | 二八〇 |
| 靜岡 | 有縣項 | 一四一六〇二五〇 | 一四七三二五五 |
| 三重 | 有縣項 | 九七四四五六六 | 一二四六六〇〇 |
| 京都 | 有縣項 | 六四一三〇五〇 | 九五六八〇〇 |
| 茨城 | 有縣項 | 三三九五二六五 | 一六五四二六五 |
| 岐阜 | 有縣項 | 三二五四〇七〇 | 一六〇一三〇〇 |
| 埼玉 | 有縣項 | 二一三七二五〇 | 一九〇五六〇 |
| 奈良 | 有縣項 | 四九六一六九六 | 二三五〇八〇〇 |
| 熊本 | 有縣項 | 二四四二五〇〇 | 七四三六〇 |

| 地区 | 合計 | 岡山 | 富山 | 神奈川 | 高知 | 福岡 | 滋賀 | 和歌山 |
|-------------|-----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|
| 中央會議所 經費 | 一四、六三、五〇〇 | 一、〇八、七一九 | 三、五一、〇〇〇 | 三、六〇、八三七 | 一、〇〇、九二三八 | 二、六五、四三六 | 一、七九、八四三 | 一、二二、九七八 |
| 調査所經費 | 四、六八、七九九 | 鳥取 | 廣島 | 佐賀 | 大分 | 愛知 | 大坂 | 山口 |
| 合計 | 九、四九、六二六 | 一、七〇、五〇〇 | 三、九一、一五〇 | 一、九八、〇三七 | 一、八八、五二八 | 一、〇四、六七九 | 二、七二、〇八三 | 四、九三、九〇四 |

昭和二十八年... 調査所經費

(参考書)

茶業組合中央會議所經費最近四年略表

| 年度 | 昭和廿八年決算 | 昭和廿九年決算 | 昭和三十年決算 | 昭和三十一年決算 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 合計 | 九、四九、六二六 | 一〇、四八、二一九 | 一〇、七九、五〇〇 | 一一、七二、八四三 |
| 岡山 | 一、〇八、七一九 | 一、三二、〇〇〇 | 一、五五、〇〇〇 | 一、八八、〇〇〇 |
| 富山 | 三、五一、〇〇〇 | 三、七〇、〇〇〇 | 三、九〇、〇〇〇 | 四、一〇、〇〇〇 |
| 神奈川 | 三、六〇、八三七 | 三、九〇、〇〇〇 | 四、一〇、〇〇〇 | 四、四〇、〇〇〇 |
| 高知 | 一、〇〇、九二三八 | 一、〇〇、九二三八 | 一、〇〇、九二三八 | 一、〇〇、九二三八 |
| 福岡 | 二、六五、四三六 | 二、六五、四三六 | 二、六五、四三六 | 二、六五、四三六 |
| 滋賀 | 一、七九、八四三 | 一、七九、八四三 | 一、七九、八四三 | 一、七九、八四三 |
| 和歌山 | 一、二二、九七八 | 一、二二、九七八 | 一、二二、九七八 | 一、二二、九七八 |

明治廿九年
 明治廿八年
 明治廿七年
 明治廿六年
 明治廿五年
 明治廿四年
 明治廿三年
 明治廿二年
 明治廿一年
 明治二十年
 明治十九年
 明治十八年
 明治十七年
 明治十六年
 明治十五年
 明治十四年
 明治十三年
 明治十二年
 明治十一年
 明治十年
 明治九年
 明治八年
 明治七年
 明治六年
 明治五年
 明治四年
 明治三年
 明治二年
 明治元年
 大正元年
 大正二年
 大正三年
 大正四年
 大正五年
 大正六年
 大正七年
 大正八年
 大正九年
 大正十年
 大正十一年
 大正十二年
 大正十三年
 大正十四年
 大正十五年
 大正十六年
 大正十七年
 大正十八年
 大正十九年
 昭和元年
 昭和二年
 昭和三年
 昭和四年
 昭和五年
 昭和六年
 昭和七年
 昭和八年
 昭和九年
 昭和十年
 昭和十一年
 昭和十二年
 昭和十三年
 昭和十四年
 昭和十五年
 昭和十六年
 昭和十七年
 昭和十八年
 昭和十九年
 昭和二十年
 昭和二十一年
 昭和二十二年
 昭和二十三年
 昭和二十四年
 昭和二十五年
 昭和二十六年
 昭和二十七年
 昭和二十八年
 昭和二十九年
 昭和三十年
 昭和三十一年
 昭和三十二年
 昭和三十三年
 昭和三十四年
 昭和三十五年
 昭和三十六年
 昭和三十七年
 昭和三十八年
 昭和三十九年
 昭和四十年
 昭和四十一年
 昭和四十二年
 昭和四十三年
 昭和四十四年
 昭和四十五年
 昭和四十六年
 昭和四十七年
 昭和四十八年
 昭和四十九年
 昭和五十年
 昭和五十一年
 昭和五十二年
 昭和五十三年
 昭和五十四年
 昭和五十五年
 昭和五十六年
 昭和五十七年
 昭和五十八年
 昭和五十九年
 昭和六十年
 昭和六十一年
 昭和六十二年
 昭和六十三年
 昭和六十四年
 昭和六十五年
 昭和六十六年
 昭和六十七年
 昭和六十八年
 昭和六十九年
 昭和七十年
 昭和七十一年
 昭和七十二年
 昭和七十三年
 昭和七十四年
 昭和七十五年
 昭和七十六年
 昭和七十七年
 昭和七十八年
 昭和七十九年
 昭和八十年
 昭和八十一年
 昭和八十二年
 昭和八十三年
 昭和八十四年
 昭和八十五年
 昭和八十六年
 昭和八十七年
 昭和八十八年
 昭和八十九年
 昭和九十年
 昭和九十一年
 昭和九十二年
 昭和九十三年
 昭和九十四年
 昭和九十五年
 昭和九十六年
 昭和九十七年
 昭和九十八年
 昭和九十九年
 平成元年
 平成二年
 平成三年
 平成四年
 平成五年
 平成六年
 平成七年
 平成八年
 平成九年
 平成十年
 平成十一年
 平成十二年
 平成十三年
 平成十四年
 平成十五年
 平成十六年
 平成十七年
 平成十八年
 平成十九年
 平成二十年
 平成二十一年
 平成二十二年
 平成二十三年
 平成二十四年
 平成二十五年
 平成二十六年
 平成二十七年
 平成二十八年
 平成二十九年
 平成三十年
 平成三十一年
 平成三十二年
 平成三十三年
 平成三十四年
 平成三十五年
 平成三十六年
 平成三十七年
 平成三十八年
 平成三十九年
 平成四十年
 平成四十一年
 平成四十二年
 平成四十三年
 平成四十四年
 平成四十五年
 平成四十六年
 平成四十七年
 平成四十八年
 平成四十九年
 平成五十年
 平成五十一年
 平成五十二年
 平成五十三年
 平成五十四年
 平成五十五年
 平成五十六年
 平成五十七年
 平成五十八年
 平成五十九年
 平成六十年
 平成六十一年
 平成六十二年
 平成六十三年
 平成六十四年
 平成六十五年
 平成六十六年
 平成六十七年
 平成六十八年
 平成六十九年
 平成七十年
 平成七十一年
 平成七十二年
 平成七十三年
 平成七十四年
 平成七十五年
 平成七十六年
 平成七十七年
 平成七十八年
 平成七十九年
 平成八十年
 平成八十一年
 平成八十二年
 平成八十三年
 平成八十四年
 平成八十五年
 平成八十六年
 平成八十七年
 平成八十八年
 平成八十九年
 平成九十年
 平成九十一年
 平成九十二年
 平成九十三年
 平成九十四年
 平成九十五年
 平成九十六年
 平成九十七年
 平成九十八年
 平成九十九年
 令和元年
 令和二年
 令和三年
 令和四年
 令和五年
 令和六年
 令和七年
 令和八年
 令和九年
 令和十年
 令和十一年
 令和十二年
 令和十三年
 令和十四年
 令和十五年
 令和十六年
 令和十七年
 令和十八年
 令和十九年
 令和二十年
 令和二十一年
 令和二十二年
 令和二十三年
 令和二十四年
 令和二十五年
 令和二十六年
 令和二十七年
 令和二十八年
 令和二十九年
 令和三十年
 令和三十一年
 令和三十二年
 令和三十三年
 令和三十四年
 令和三十五年
 令和三十六年
 令和三十七年
 令和三十八年
 令和三十九年
 令和四十年
 令和四十一年
 令和四十二年
 令和四十三年
 令和四十四年
 令和四十五年
 令和四十六年
 令和四十七年
 令和四十八年
 令和四十九年
 令和五十年
 令和五十一年
 令和五十二年
 令和五十三年
 令和五十四年
 令和五十五年
 令和五十六年
 令和五十七年
 令和五十八年
 令和五十九年
 令和六十年
 令和六十一年
 令和六十二年
 令和六十三年
 令和六十四年
 令和六十五年
 令和六十六年
 令和六十七年
 令和六十八年
 令和六十九年
 令和七十年
 令和七十二年
 令和七十四年
 令和七十六年
 令和七十八年
 令和八十年
 令和八十二年
 令和八十四年
 令和八十六年
 令和八十八年
 令和九十年
 令和九十二年
 令和九十四年
 令和九十六年
 令和九十八年
 令和九十九年
 元号未定

(卷末(書))

茶業聯合中央會 種茶 輸出製茶數量

| 年次種月 | 輸出製茶數量 | 今上元價 | 百斤平均價格 |
|-------|------------|--------------|--------|
| 明治廿九年 | 三三、一六八、七五六 | 六、一三四、八一六二〇 | 一八四、五 |
| 左廿九年 | 三六、三三六、五四四 | 六、一五六、七三八〇 | 一九〇、三九 |
| 左廿八年 | 三七、三九三、三九八 | 六、三三六、八八〇 | 一六九、三五 |
| 左廿七年 | 三七、一八、二〇三 | 七、〇三三、〇〇〇 | 一七六、一六 |
| 左廿六年 | 三六、四四三、五五五 | 七、五三三、三六〇〇 | 二〇、五八 |
| 左廿五年 | 三七、五四三、五八七 | 七、七〇二、〇八〇〇 | 二一、三四 |
| 左廿四年 | 三八、七九九、一四八 | 七、九三〇、二六九三〇 | 二一、一二二 |
| 左廿三年 | 三六、六七四、五四八 | 八、八七九、二四一五四 | 二二、八七八 |
| 左廿二年 | 三六、一八九、六〇〇 | 八、八一九、七四三、六〇 | 二四、四八 |
| 左廿一年 | | 八、九〇八、〇二四九九 | 二七、一九九 |

附刊 種茶聯合會 種茶

新設、博覽會

臨時博覽會事務局

[Blank writing area with vertical lines]

拜啓來明治三十三年佛國巴里府、於元萬國博覽會相開矣。日本邦、於此亦參同致、目下出品準備中、有之美然、御承知、如彼之戰勝、以來本邦、名譽、世界各國、喧傳、亦、同時、為工業、上、實力、亦、寧、已、列國、開、過、分、重、也、此、至、上、申、美、折、柄、殊、歐、洲、文、明、及、中、心、也、申、也、巴里府、之、博、覽、會、出、品、以、來、本、邦、商、工、上、名、譽、亦、博、取、路、之、擴、張、亦、因、此、而、發、揚、也、此、等、之、事、固、旨、趣、也、分、之、貫、徹、致、美、事、誠、之、困難、事、柄、矣、得、之、當、局、之、於、此、種、之、考、案、中、有、之、矣、尤、其、方、法、固、且、種、之、百、端、可、有、之、矣、得、其、從、來、之、實、例、之、積、也、美、得、安、本、邦、特、得、之、長、技、也、美術品、美術、五、藝、品、之、精、華、也、此、列、國、之、競、爭、場、裏、之、技

臨時博覽會事務局

揮之其最良策之ヲト考之申矣在レ今面策一
注意スヘキ宜シク朝野一致以テ可成丈ケ佳良ノ物
品ヲ製造出陳スルニ可有之歟存レ目下夫々獎勵勸
誘ノ手續中ニ御座矣然ルニ承リ美得ハ貴地方ハ夙ニ陶
磁器製造ノ業盛ニシテ其製品タル洵ニ馬趣精製ノ聞ハ
アルヲミナラス殊ニ近來閣下ノ獎勵監督ノ下ニ一新燒窯
ヲ開カレ愈ニ俊技精巧ヲ起キ更由小官ノ常ニ歎賞致シ居
ル所。就テハ今回大博覽會ニ對シテ更ニ一層ノ御尽力ヲ以テ
可成的精華優秀ノ品ニ御出品相成美様致度
若シ幸ニシテ御同意ト多数ノ良品御出品相成
美ニ於テハ海内ノ紳士富豪技術者等モ之レヲ聞テ
自ラ奮起スルニ至ルヘク洵ニ國光宣揚ノ一端ト存矣
奈何國家ヲ為大右御賛助御尽力相成美様致

度此改希望美也

明治三十年六月二日 副總裁 青氏名

島津公寿元

備中ニ有之如ク彼ノ戰勝以來
本邦ノ名譽ハ世界各國ニ喧傳セラルト同時
商工業ノ實力モ亦寧日列國ノ間ニ過重セラルニ
至リ殊ニ歐洲文明ノ中心トモ申スヘキ巴里府ニ開
設セラル事ニ美得ハ自故ノ出品最モ精選ヲ要
シ就中本邦特得ノ長技タル美術品美術工藝
品ノ出品ニ就テハ殊ニ力ヲ致スヘキノ必要有之夫
蒙意却領地ニ在實ハ夙ニ實業發達致居其
製品タル洵ニ馬趣精製ノ聞ハ今由出品
就テハ主トシテ屬切至スヘキノ要地ニ有之依之本局
ニ於テモ特別ノ獎勵法ヲ以テ不取敢一熟ニ通高

明治三十三年佛國巴里。於テ萬國大博覽
 會相開矣。付本邦。於テ之。參同シ目下出品準
 備中。有之然ル。御承知。如ク彼ノ戰勝以來
 本邦ノ名譽ハ世界各國ニ喧傳セラルト同時ニ
 商工業ノ實力モ亦寧口列國ノ間ニ過重セラルニ
 至リ殊ニ歐洲文明ノ中心トモ申スヘキ巴里府ニ開
 設セラル事ニ莫得ハ自致ノ出品最モ精選ヲ要
 之就中本邦特得ノ長技タル美術品美術工藝
 品ノ出品ニ就テハ殊ニ力ヲ致スヘキノ必要有之矣
 慶舊御領地タル佐賀ハ夙ニ實業發達致居其
 製品タル洵ニ高趣鮮麗ノ間ニ高ク今回ノ出品ニ
 就テハ主トシテ屬望スヘキノ要地ニ有之依之本局
 ニ於テモ特別ノ獎勵法ヲ以テ不取敢一斷ニ適當

拜啓來明治三十三年佛國巴里。於テ萬國大博覽
 會相開矣。付本邦。於テ之。參同シ目下出品準
 備中。有之然ル。御承知。如ク彼ノ戰勝以來
 本邦ノ名譽ハ世界各國ニ喧傳セラルト同時ニ
 商工業ノ實力モ亦寧口列國ノ間ニ過重セラルニ
 至リ殊ニ歐洲文明ノ中心トモ申スヘキ巴里府ニ開
 設セラル事ニ莫得ハ自致ノ出品最モ精選ヲ要
 之就中本邦特得ノ長技タル美術品美術工藝
 品ノ出品ニ就テハ殊ニ力ヲ致スヘキノ必要有之矣
 慶舊御領地タル佐賀ハ夙ニ實業發達致居其
 製品タル洵ニ高趣鮮麗ノ間ニ高ク今回ノ出品ニ
 就テハ主トシテ屬望スヘキノ要地ニ有之依之本局
 ニ於テモ特別ノ獎勵法ヲ以テ不取敢一斷ニ適當

ノモノヲ指名シ注文可致著々美得共尚甚不更ノ
感有之付可相成ハ貴家ニ於テモ國家ノ為御
奮勵可成雄品ノ製作ヲ命セラレ御出品相成
美様致度以段及御照會矣也

明治三十年七月三十日

總裁 名

錫島侯爵

西工業ノ實力ハ本邦ニ比シテ如何ニ重シキニ
本邦ノ水準ハ世界各國ニ對シテ如何ニ劣リ
會計開示ハ本邦ニ於テ如何ニ重要ニ
拜啓來明治三十三年佛國巴里府ニ於テ萬國大博覽會開設矣ニ付本邦ニ於テモ之ニ參同シ目下出品準備中ニ有之然ルニ御承知ノ如ク彼ノ戰勝以來本邦ノ名譽ハ世界各國ニ喧傳セラルト同時ニ商工業ノ實力モ亦寧以列國ノ間ニ過重セラ

拜啓來明治三十三年佛國巴里府ニ於テ萬國大博覽會開設矣ニ付本邦ニ於テモ之ニ參同シ目下出品準備中ニ有之然ルニ御承知ノ如ク彼ノ戰勝以來本邦ノ名譽ハ世界各國ニ喧傳セラルト同時ニ商工業ノ實力モ亦寧以列國ノ間ニ過重セラ
ルニ至リ殊ニ歐洲文明ノ中心トモ申スヘキ巴里府ニ開設セラル事ニ美得ハ有般ノ出品最モ精選ヲ要シ就中本邦特得ノ長技タル美術品及美術工藝品ノ出品ニ就テハ殊ニ力ヲ致スヘキ必要有之矣依之本邦於テモ特別ノ獎勵法ヲ以テ優等知名ノ技術家ニ對シテハ夫々製作方法注文可致著々美得共何分ニテ經費ニ限リテ十分獎勵ノ法實施難致甚遺憾ニ存居美汝等ニ付テハ願

貴家ニ於テ天國家ノ為メ御奮勵美術又ニ美術
 工業藝上ノ物品ニシテ會場ノ光彩ヲ添エテ優
 品製作方御下命御出品相成美様致度此段
 及御照會美也

明治三十年八月九日

總裁青氏名

德川家達 (静子)

岩倉具定

池田常政 (玉山)

池田博 (馬取)

德川義禮 (孫右)

細川護成 (孫右)

德川義承 (孫右)

伊達宗徳 (守徳)

黒田長成 (福岡)

山田豊宗 (言右)

前田利嗣 (言右)

杉平原庄 (孫右)

浅田長助 (孫右)

伯耆石田氏共 (孫右)

井伊重憲 (孫右)

藤巻宗経 (孫右)

三浦重忠 (孫右)

大木村純雄 (孫右)

一動物名類記 德川義承 (孫右)

一動物名類記 池田常政 (玉山)

一動物名類記 池田博 (馬取)

一動物名類記 德川義禮 (孫右)

一動物名類記 細川護成 (孫右)

一動物名類記 德川義承 (孫右)

一動物名類記 伊達宗徳 (守徳)

一動物名類記 黒田長成 (福岡)

一動物名類記 山田豊宗 (言右)

一動物名類記 前田利嗣 (言右)

一動物名類記 杉平原庄 (孫右)

一動物名類記 浅田長助 (孫右)

一動物名類記 伯耆石田氏共 (孫右)

一動物名類記 井伊重憲 (孫右)

一動物名類記 藤巻宗経 (孫右)

貴家... 龜井 益明 (博覽)

立花 寛治 (折川)

平 浦 詮 (平戸)

有 了 於 万 (富米)

久 松 玄 漢 (松山)

松 平 托 聰 (吉松)

三 春 秋 元 興 朝 (徳林)

加 友 春 秋 (三河)

子 回 春 秋 (冬島)

三 春 秋 元 興 朝 (徳林)

三 春 秋 元 興 朝 (徳林)

三 春 秋 元 興 朝 (徳林)

三 春 秋 元 興 朝 (徳林)

臨時博覽會事務

一 動物学雑誌 邦文
一 動物学雑誌 邦文
東京動物学会

十 電業学会

未 日本鑛業学会

十 強氏恒人會

未 隆博會恒會

十 日本鑛業学会

十 官廳出品

臨時博覽會事務

十レ

十レ

未洋

十レ

未洋

十レ

一、長濱清毒所 模造品、寫真、平面圖、及附屬圖
但此豫算金九千圓

一、東京大改修 寫真、平面圖、及水彩画
但此豫算金二千五百圓

一、東京大改修 寫真、平面圖、及水彩画
但此豫算金三千五百圓

内務省

一、長濱清毒所 模造品、寫真、平面圖、及附屬圖

但此豫算金九千圓

一、東京大改修 寫真、平面圖、及水彩画

但此豫算金二千五百圓

一、東京大改修 寫真、平面圖、及水彩画

但此豫算金三千五百圓

一、東京大改修 寫真、平面圖、及水彩画

但此豫算金三千五百圓

一、東京大改修 寫真、平面圖、及水彩画

但此豫算金三千五百圓

一、東京大改修 寫真、平面圖、及水彩画

但此豫算金三千五百圓

官廳出品、件

附註

日本經濟會

日本國產會

日本同風會

日本會

日本會

日本會

日本會

內務省博覽會事務局

博覽會事務局

Vertical columns of faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

內務省博覽會事務局

一長濱清毒所 模造品 寫真 平面圖 及 附屬圖

一但此豫算金九千四百八十元 (以下)

一東京大改痘苗製造所 寫真 平面圖 及 水彩畫 (製苗室及)

一但此豫算金千貳百四十五元

一東京大改橫濱長崎神戶函館廣島水道明細圖

一但此豫算金三千五百元

一東京大改橫濱衛生試驗所 寫真 及 平面圖

一但此豫算金五百元

一血清製院 寫真 及 平面圖

一但此豫算金一百元

一傳染病研究所 寫真 及 平面圖

一但此豫算金五百元

內務省

Vertical text on the left margin of the bottom page.

一田原氏消毒裝束圖

一但此隊莫金武百圓圖

一衛生試驗可検査紙紙面

一但此隊莫金武於五圓圖

合計 金壹萬四千四百貳拾圓

一東京入山野實重三十五圓圖

一東京入山野實重三十五圓圖

一東京入山野實重三十五圓圖

一東京入山野實重三十五圓圖

一東京入山野實重三十五圓圖

內務省

佛立大博覽會出品目錄

內務省

一瀧川手面圖 (縮尺三十分之一) (全流域) 壹枚

一江內 (縮尺三十分之一) (佐左以下) 壹枚

一江內 (縮尺三十分之一) (佐左附近) 壹枚

一江內 (縮尺三十分之一) (佐左附近) 壹枚

一江內 (縮尺三十分之一) (佐左附近) 壹枚

一江內 (縮尺三十分之一) (佐左附近) 壹枚

一江內 (縮尺三十分之一) (佐左附近) 壹枚

一江內 (縮尺三十分之一) (佐左附近) 壹枚

一江內 (縮尺三十分之一) (佐左附近) 壹枚

一江內 (縮尺三十分之一) (佐左附近) 壹枚

一江內 (縮尺三十分之一) (佐左附近) 壹枚

內務省

佛立大博覽會出品目錄

內務省

以上製作費豫算

一 金壹百圓也

製圖之場托手費

一 金四拾五圓八角也

製圖用品購入、為出張旅費

一 金九拾圓也

但汽車之乘來往及滞在之圓内 (往復印刷) 到任旅費 (支給) 製圖紙五十枚、代

一 金六拾圓也

給具、鉛筆等製圖用消耗品代

一 金五拾圓也

佛文計圖書款印刷費

一 金五拾圓也

製圖及計圖書款為送運搬及保險料共

一 金五拾圓也

但大改、東、東、運賃保險料

一 金六拾圓也

合計金六百七拾五圓八錢

一 金三拾圓也

一 金三拾圓也

一 金三拾圓也

一 金三拾圓也

一 金三拾圓也

一 金三拾圓也

一 金三拾圓也

一 金三拾圓也

附錄 農務局...

農務局

筆送金可託

一 金四拾九百拾圓

耕牛出賃品費

内 金壹千圓

農務局生息費

金壹千圓

金壹千八百圓

國解類出賃料 (一 枚、百金、農務局)

金壹千八百圓

北、農、農、茶製造家、耕地及別、水田、桑園、茶園、其他、(加) 農產物產款、輸出重要農產物其他畜產

家畜衛生、特種家畜、(加) 畜產物產款、輸出重要農產物其他畜產

配置圖五枚 (一 枚、計金、三拾五圓)

金壹百七拾五圓

此、農、農、試驗場、畜產課、講習所、種馬所、寺、院

金壹百七拾五圓

金壹百七拾五圓

金壹百七拾五圓

金壹百七拾五圓

金壹百七拾五圓

金壹百七拾五圓

金壹百七拾五圓

金壹百七拾五圓

附錄 農務局...

東...

附錄...

此種馬牧場之水彩畫之字樣

全百五拾四 橫造之物

此鴨池獵之模造之物

全七百四拾五 解說書

(其他全百四十九)

此法般之出呂物之解說書

全五千四 商務局出費

內此... 農務局出費

全五千四 農務局出費

全百萬五千四百四拾七

內... 山林局出費

全百四 木材標本

全百四 樹木乾腊標本

全百四 種子乾腊

全百四 實地標本

全百四 樹木圖

全百四 伐木造林及造林圖

全百四 伐木之圖

全百四 造林之圖

全百四 施藥標本

全百四 森林法、損失統計

全百四 雜類

全百四 以上各種之標本

全百四 木材之圖

全百四 建築材料

全百四 建築用材

全百四 建築用材

但我所特許制度，沿革審查等特許意匠商標
登錄統計現特許局，情態等，仙文之編纂等

金百圓

水產馬出品費

金百圓

水產物產之圖及圖表
漁獲等一覽圖等要後糧品表

但仙文及澤科共

金九千九百七拾圓

鏡山馬出品費

金四千八百圓

本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金八百圓并、要及文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金一千五百圓并、要及文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金一千五百圓并、要及文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）

金四百圓

本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金五百圓并、要及文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金五百圓并、要及文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金五百圓并、要及文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）

金六百七拾圓

要及文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（要及文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金三百九拾圓并、本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金三百九拾圓并、本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金三百九拾圓并、本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）

金六百七拾圓

本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金六百七拾圓并、本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）
此金六百七拾圓并、本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓
（本邦文藝事業發展史編纂及印刷費百圓）

全百五拾元 但此種紙幣有白 卅元

全百五拾元 報文 卅元

全百五拾元 但此種紙幣有白 卅元

全百五拾元 反紙料 卅元

全百五拾元 但此種紙幣有白 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百四拾元 卅元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

全百五拾元

(五) 農事試驗成績表檢出

四於母

(一) 全三万四千五百

小産議習所出費

(二) 全六千

鯉油浸鑼法四分一(一)五分一(二)五分一(三)五分一

(三) 全五千四百

鯉油浸鑼法三打度五分一(一)五分一(二)五分一(三)五分一

(四) 全三千

鯉油浸鑼法二打度五分一(一)五分一(二)五分一(三)五分一

(五) 全二千

鯉油浸鑼法一打度五分一(一)五分一(二)五分一(三)五分一

(六) 全一千

鯉油浸鑼法五分一(一)五分一(二)五分一(三)五分一

全七千五百

(二) 於(一) 但寺的台四於(一)

全五千

小鯉油浸鑼法長方形角鑼五分一(一)

全三千

海豚腦油(五打度) 但寺的台五於(一)

全二千

赤七打度(一) 裝飾及存送費

全一千

小産調査所出費

全七百

網具、新形於(一) 及網地敷

全五百

網具使用(寫) 於(一) 板

全三百

釣釣款付 五而

全二百

追獲及子釣款收品

全七百

鯉油浸鑼法五分一(一) 五分一(二) 五分一(三) 五分一

全七百

鯉油浸鑼法五分一(一) 五分一(二) 五分一(三) 五分一

臨時博覽會事務局

鍍字代器式二種

鍍字他卷具及向料

鍍字業用印房品及特符船外二艘

附付房器

鍍配繩坊及浮樽三の其他負釣

鍍標本三種及生練二種一飛

二書冊及圖画

水産調査技書

出資後取書

鍍字業小布圖

鍍字業小布圖

三寫字の... 鍍字業全日業

鍍字業全日業



沖場、地産、鍍字、身欠、物製造、鍍字

鍍字

鍍字

陸揚、波刺、塩切、鍍字、全日業、沖場、身欠

一歲鍍字之字化、鍍字、全日業、沖場、身欠

鍍字、全日業、沖場、身欠、鍍字、全日業

鍍字、全日業、沖場、身欠

鍍字

鍍字、全日業、沖場、身欠

鍍字

鍍字

四製器、鍍字、全日業、沖場、身欠

鍍字、全日業、沖場、身欠

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

全百五十四日

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

銚子字化三回元字三科

北海道 山林 園方 分 草 具 形 式

一書冊 園畫 寫真

北海道 園畫 寫真 園方 分 草 具 形 式

本種 (シラカンバ、エゾマツ、アカエゾマツ、コタンノワ、アカダス、ヤケケモ、カワラ、レコバ)

一書 全上 木種 材鑑 (皮付、皮目、証目、三種)

二書 全上 樹種 材鑑 (皮付、皮目、証目、三種)

三書 全上 木種 形伴 圖 係具 總 高

(備考) 園畫 寫真、係具 總 高

本種 寫生 圖、大、縦、二、尺、幅、一、尺、五、寸、木、種、林、寫、真、大、縦

一、尺、二、寸、幅、一、尺、五、寸、木、種、林、寫、真、大、縦

系 項、數、七、十、四、種、木、種、林、寫、真、大、縦

二 經費 豫算 附 五、月、本、種、園、畫、寫、真、大、縦

一、全、五、百、餘、日、係、具、總、高、大、縦

係具 總 高

一全五册內收六册

二點卷全五拾五册

全全拾四

全全百五拾四

全全拾四

全七拾五册

農事：圖之全

一書冊

北海道：於之京安農作物史

北海道：於之高原、湖澤及其進步

附種高師、制度

北海道：於之醫藥業、沿革及其進步

農務局

本種寫生圖於四枚調製料

木種材鑑拾四組 全上

寫真拾四組 (四枚小枚) 代

樹木形作圖調製料

材料採取費

附醫藥業傳習所、制度

(備考) 書冊、作裁

英文、于去未得、大、裝飾、加、コト

而画、成、美、麗、剛、刺、挿、入、コト

一冊各百頁、部數各二百部

二經費豫算

一全千五百五拾七册五拾五

豫算總高

巴里島內

次第全四百五拾四

會全四拾五册

然又全卷百五拾七册五拾五

仔全百五拾五册

全全百五拾五册

英文一頁柱字料一頁一冊五拾五册三百五

二頁印刷料一冊九拾五册

紙代兩面口下八百頁

表紙代一冊、柱字料五拾五册九百册

製本料一冊、柱字料五拾五册九百册

農務局出品

農務局出品
 試給場出品費、運費、係之而手玉通、
 承致、也

農務局出品
 試給場出品費、運費、係之而手玉通、
 承致、也

臨時博覽會出品

記博覽會出品

一金貳千參百圓 巴里萬國博覽會農務局出品費
 一金貳百九拾五圓 全國府縣別圖(百圓) 百枚(千枚)
 作及此、全國府縣別輪畫圖、シテ府縣名、外三府五
 港、位地、之ヲ記入シ、第二項製圖、原圖、供不
 一金千五百五圓 製圖費四十一枚(千枚)
 此、右原圖、人口、山林、原野、牧場、及耕地、(田畑桑
 茶園)、反別、地價、重要農產物、生產額、重要
 農產物價格、沿革、及輸出入額、其他高產、園
 一、款、元、事、項、濃、淡、色、及、原、圖、同、表、示、之、段
 一金五百圓 日本農產物博覽會出品費

平均地價、平均山林、平均茶園、平均桑園、平均畜產、平均漁業、平均工業、平均商業、平均交通、平均教育、平均衛生、平均治安、平均文化、平均藝術、平均科學、平均宗教、平均社會、平均政治、平均法律、平均外交、平均國防、平均國際、平均世界、平均人類、平均自然、平均宇宙、平均萬物、平均一切。

一金五百圓 日本農業誌畧編纂費

一頁海文及沃料二頁海寫料五頁合計二頁

五十七頁此三百頁分全五百圓

茶園(日本海濱) 重要農產物(茶) 茶園(日本海濱)

茶園(日本海濱) 重要農產物(茶) 茶園(日本海濱)

茶園(日本海濱) 重要農產物(茶) 茶園(日本海濱)

茶園(日本海濱) 重要農產物(茶) 茶園(日本海濱)

茶園(日本海濱) 重要農產物(茶) 茶園(日本海濱)

茶園(日本海濱) 重要農產物(茶) 茶園(日本海濱)

茶園(日本海濱) 重要農產物(茶) 茶園(日本海濱)

茶園(日本海濱) 重要農產物(茶) 茶園(日本海濱)

茶園(日本海濱) 重要農產物(茶) 茶園(日本海濱)

茶園(日本海濱) 重要農產物(茶) 茶園(日本海濱)

巴里博覽會出品圖解

一人口 (各府縣全地積) 一百一十枚

一田畑地價 (一町半) 一百一十枚

一田畑山林原野及牧場、桑、茶園、民有地、及別(全地積) 一百一十枚

一作反(全地積) 一百一十枚

一重要農產物產額 (全地積) 一百一十枚

一重要農產物價格 (全地積) 一百一十枚

一重要農產物、存貯、加工、生產輸出入及消費額 (全地積) 一百一十枚

一(但)重要對照 (全地積) 一百一十枚

一重要農產物、輸支價額 (全地積) 一百一十枚

一農牛、牧 (存貯) 一百一十枚

一歉收 (存貯) 一百一十枚

合計六枚

四十一枚

一 全日本
 一 濃淡色及印刷用
 一 各色、高低字用
 一 表紙用
 一 日本農業誌編輯費
 一 濃淡色及印刷用 三枚
 一 各色、高低字用 十枚
 一 表紙用 四枚
 一 日本農業誌編輯費 一枚
 合計 五枚
 一 濃淡色及印刷用 三枚
 一 各色、高低字用 十枚
 一 表紙用 四枚
 一 日本農業誌編輯費 一枚
 合計 五枚

三十二年度

一 全國府知事繪圖 (百十五分)

百枚

- (一) 製圖費 (版下) 全七拾圓
- (二) 銅版及彫刻料 全百五拾圓
- (三) 紙代 全百拾圓
- (四) 印刷料 全四拾圓

合計全百九拾五圓

三十二年度

- 一 濃淡色及印刷用 三枚 全九百五拾圓
- 一 各色、高低字用 十枚 全六百四拾圓
- 一 表紙用 四枚 全百五拾圓
- 一 日本農業誌編輯費 一枚 全五拾圓
- 合計 五枚

出品目錄

- (一) 步兵隊用步兵醫板 貳個
- (二) 衛生隊用野戰醫板 貳個
- (三) 同 豫備醫板 四個
- (四) 擔 架 五個
- (五) 醫 療 囊 壹個
- (六) 繃 帶 囊 壹個
- (七) 砲 兵 醫 板 壹個
- (八) 大地圖 壹枚
- (九) 繪 畫 三拾枚
- (十) 擔架卒人形三人伍 壹組
- (十一) 看護長人形 壹組

- 1. 步兵隊用步兵醫板
- 2. 衛生隊用野戰醫板
- 3. 同 豫備醫板
- 4. 擔 架
- 5. 醫 療 囊
- 6. 繃 帶 囊
- 7. 砲 兵 醫 板
- 8. 大地圖
- 9. 繪 畫
- 10. 擔架卒人形三人伍
- 11. 看護長人形

- (一) 附防寒服及其臺灣避暑服款式
- (二) 義治手入足
- (三) 似島檢定所大地圖
- (四) 全上 籬形
- (五) 以上拾四矣
- (六) 但此新語費及荷造費概算
- (七) 金五千四、見込
- (八) 同
- (九) 鐵道年報
- (十) 鐵道年報

佛國巴里大博覽會出品目錄

鐵道年報 (佛文)

此翻譯料

鐵道年報，翻譯料，頁下有說明，其
調查所出，沖印，不可不備。

以上鐵道與分

- 一 郵便物教累年比較統計看表 附取局教及線路里教
- 一 電報通教累年比較統計看表 同上
- 一 郵便為替累年比較統計看表 附取局教
- 一 郵便貯金累年比較統計看表 同上
- 一 小包郵便物教累年比較統計看表 附取局教及線路里教
- 一 電話加入者及年度教累年比較統計看表
- 一 電信法於國新頁

一、(一) 展覽會
 一、(二) 展覽會
 一、(三) 展覽會
 一、(四) 展覽會
 一、(五) 展覽會
 一、(六) 展覽會
 一、(七) 展覽會
 一、(八) 展覽會
 一、(九) 展覽會
 一、(十) 展覽會
 一、(十一) 展覽會
 一、(十二) 展覽會
 一、(十三) 展覽會
 一、(十四) 展覽會
 一、(十五) 展覽會
 一、(十六) 展覽會
 一、(十七) 展覽會
 一、(十八) 展覽會
 一、(十九) 展覽會
 一、(二十) 展覽會
 一、(二十一) 展覽會
 一、(二十二) 展覽會
 一、(二十三) 展覽會
 一、(二十四) 展覽會
 一、(二十五) 展覽會
 一、(二十六) 展覽會
 一、(二十七) 展覽會
 一、(二十八) 展覽會
 一、(二十九) 展覽會
 一、(三十) 展覽會
 一、(三十一) 展覽會
 一、(三十二) 展覽會
 一、(三十三) 展覽會
 一、(三十四) 展覽會
 一、(三十五) 展覽會
 一、(三十六) 展覽會
 一、(三十七) 展覽會
 一、(三十八) 展覽會
 一、(三十九) 展覽會
 一、(四十) 展覽會
 一、(四十一) 展覽會
 一、(四十二) 展覽會
 一、(四十三) 展覽會
 一、(四十四) 展覽會
 一、(四十五) 展覽會
 一、(四十六) 展覽會
 一、(四十七) 展覽會
 一、(四十八) 展覽會
 一、(四十九) 展覽會
 一、(五十) 展覽會
 一、(五十一) 展覽會
 一、(五十二) 展覽會
 一、(五十三) 展覽會
 一、(五十四) 展覽會
 一、(五十五) 展覽會
 一、(五十六) 展覽會
 一、(五十七) 展覽會
 一、(五十八) 展覽會
 一、(五十九) 展覽會
 一、(六十) 展覽會
 一、(六十一) 展覽會
 一、(六十二) 展覽會
 一、(六十三) 展覽會
 一、(六十四) 展覽會
 一、(六十五) 展覽會
 一、(六十六) 展覽會
 一、(六十七) 展覽會
 一、(六十八) 展覽會
 一、(六十九) 展覽會
 一、(七十) 展覽會
 一、(七十一) 展覽會
 一、(七十二) 展覽會
 一、(七十三) 展覽會
 一、(七十四) 展覽會
 一、(七十五) 展覽會
 一、(七十六) 展覽會
 一、(七十七) 展覽會
 一、(七十八) 展覽會
 一、(七十九) 展覽會
 一、(八十) 展覽會
 一、(八十一) 展覽會
 一、(八十二) 展覽會
 一、(八十三) 展覽會
 一、(八十四) 展覽會
 一、(八十五) 展覽會
 一、(八十六) 展覽會
 一、(八十七) 展覽會
 一、(八十八) 展覽會
 一、(八十九) 展覽會
 一、(九十) 展覽會
 一、(九十一) 展覽會
 一、(九十二) 展覽會
 一、(九十三) 展覽會
 一、(九十四) 展覽會
 一、(九十五) 展覽會
 一、(九十六) 展覽會
 一、(九十七) 展覽會
 一、(九十八) 展覽會
 一、(九十九) 展覽會
 一、(一百) 展覽會

巴里博覽會之出品費割合

博覽會

一金九百圓也

内訳

金七百六十圓

内

金四百圓

金六十圓

金六百六十圓

内

金四百圓

金六十圓

金七百六十圓

金乃蒐集費

金乃蒐集費

金乃蒐集費

本所博物標本

解況費

物品蒐集費

至西亞西新、技術、衣用、伴了之形類、
其之標本

宮内省

金幣

金百七拾四圓

解說黃

陸軍部軍令司

金百圓

註明黃

金百圓

本洋對照表

金百圓

註明黃

金百圓

註明黃

金百圓

陸軍部軍令司

陸軍部

出品黃效增加優照會

記

一 金貨幣

三種

各外個

二 銀貨幣

三種

各外個

三 銅貨幣

一種

各外個

一 青銅貨幣

二種

各外個

一 金銀銅黃牌類

四種

各外個

但實際之臨三種銅幣教等多少增減了凡也

右之通

明治三十年六月 造幣局

萬分同之幣... 造幣局

陸軍部軍令司

出品部本部本有出品概目錄通計備考

一教育制度 （佛和文） 一八九八

一學校人負百人中就學道廳府縣別比較圖 二〇〇五

一學校人負百人中就學國別比較圖 二〇〇〇

一學校人負百人中就學及休學男女比較圖 一〇〇〇

一人一員一什公私立中等中學校生徒進道廳存物別比較圖 一〇〇〇

一官分科立中等中學校生徒及卒業生進道廳存物別比較圖考 一〇〇〇

一公學費一員一歲入歲出累年比較圖 一〇〇〇

一法學校聯絡圖 一〇〇〇

東京美術工藝學校 二〇〇〇

共立女子職業學校 二〇〇〇

出品部本部本有出品概目錄通計備考

一教育制度 （佛和文） 一八九八

一學校人負百人中就學道廳府縣別比較圖 二〇〇五

一學校人負百人中就學國別比較圖 二〇〇〇

一學校人負百人中就學及休學男女比較圖 一〇〇〇

一人一員一什公私立中等中學校生徒進道廳存物別比較圖 一〇〇〇

一官分科立中等中學校生徒及卒業生進道廳存物別比較圖考 一〇〇〇

一公學費一員一歲入歲出累年比較圖 一〇〇〇

一法學校聯絡圖 一〇〇〇

東京美術工藝學校 二〇〇〇

共立女子職業學校 二〇〇〇

出品部本省
 一、女子高等師範學校
 一、高等商業學校
 一、東京工業學校
 一、東京美術學校
 一、東京盲啞學校
 一、震災豫防調查會
 一、中央氣象臺
 一、京都市美術工藝學校
 一、共立女子職業學校

札幌農學校

| 出品部本省 | 豫定金額 | 增加金額 | 豫定通計 | 備考 |
|-----------|------------------|------------------|------------------|--------------|
| 女子高等師範學校 | 三〇〇,〇〇〇 | 七〇,〇〇〇 | 三七〇,〇〇〇 | 三四〇 |
| 高等商業學校 | 二〇〇,〇〇〇 | 七〇,〇〇〇 | 二七〇,〇〇〇 | 二四〇 |
| 東京工業學校 | 九〇〇,〇〇〇 | 一九八,〇〇〇 | 一,〇九八,〇〇〇 | 一,〇〇〇 |
| 東京美術學校 | 九〇〇,〇〇〇 | 〇 | 九〇〇,〇〇〇 | 九〇〇 |
| 東京盲啞學校 | 二〇〇,〇〇〇 | 一〇〇,〇〇〇 | 三〇〇,〇〇〇 | 三〇〇 |
| 震災豫防調查會 | 九〇〇,〇〇〇 | 七七〇,〇〇〇 | 一,六七〇,〇〇〇 | 一,六七〇 |
| 中央氣象臺 | 九〇〇,〇〇〇 | 二二九,〇〇〇 | 一,一三九,〇〇〇 | 一,二一九 |
| 京都市美術工藝學校 | 三〇〇,〇〇〇 | 〇 | 三〇〇,〇〇〇 | 六〇〇 |
| 共立女子職業學校 | 八三〇,〇〇〇 | 一〇〇,〇〇〇 | 一,三三〇,〇〇〇 | 一,〇〇〇 |
| 合計 | 一,七〇〇,〇〇〇 | 一,五五〇,〇〇〇 | 三,二五〇,〇〇〇 | 一,九三八 |

東京市立

| | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 共立合議計 | 八八〇〇〇〇 | 二一〇二〇〇〇 | 一三九二〇〇〇 | 一〇、八九二 |
| 東京市立第一高等女學校 | 二〇〇〇〇 | | | 六〇〇 |
| 中央農學校 | 一〇〇〇〇 | | | 一、一七五 |
| 東京市立第二高等女學校 | 一〇〇〇〇 | | | 一、六九〇 |
| 東京市立第三高等女學校 | 一〇〇〇〇 | | | 三〇〇 |
| 東京市立第四高等女學校 | 一〇〇〇〇 | | | 四〇〇 |
| 東京市立第五高等女學校 | 一〇〇〇〇 | | | 一、〇〇〇 |
| 高等商業學校 | 二〇〇〇〇 | | | 一、一五〇 |
| 女子高等師範學校 | 三〇〇〇〇 | | | 一、一五〇 |
| 高等師範學校 | 四〇〇〇〇 | | | 五〇〇 |
| 東京帝國大學 | 一八〇〇〇〇 | 一、五〇〇、〇〇〇 | 一、五〇〇、〇〇〇 | 二、〇〇五 |
| 文部省 | 一、五〇〇、〇〇〇 | 二、〇〇〇、〇〇〇 | 一、五〇〇、〇〇〇 | 一、五三六 |
| 出品 | | | | |

校訂

記

| | |
|---------|----------|
| 金貳千五百圓 | 東京帝國大學 |
| 金五百圓 | 高等師範學校 |
| 金貳百四拾圓 | 女子高等師範學校 |
| 金貳百四拾圓 | 高等商業學校 |
| 金千圓 | 東京工業學校 |
| 金九百圓 | 東京美術學校 |
| 金六百圓 | 札幌農學校 |
| 金貳百圓 | 東京盲啞學校 |
| 金千六百七拾圓 | 震災防務調査會 |
| 金千貳百拾九圓 | 中央公家共 |
| 以上 | |

東京市立

一 磁力計 一箇 金七百円

一 日本林産物検査局 金七百円

一 日本林産物検査局 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

一 農林省 金七百円

中央地方部 農産品標本

金貳百円

農林省 材料購入費

金四拾円

米 備入料

金四拾円

旅費

金百貳拾円

西内 旅費

金百貳拾円

東北地方部 材料購入費

金四拾円

備入料

金六拾円

旅費

金百四拾円

臺内 旅費

金百四拾円

北海道部

金貳百円

樹葉等ノ標本ヲ添付ス

金百四拾円

家内 樹葉等ノ標本ヲ添付ス

金百四拾円

樹葉等ノ標本ヲ添付ス

金百四拾円

樹葉等ノ標本ヲ添付ス

金百四拾円

測定結果表及圖之有要、本枝及樹實

一 日本森林係ル出品 金九百円

一 日本森林係ル出品 金九百円

一 日本森林係ル出品 金九百円

一 日本森林係ル出品 金九百円

一 日本森林係ル出品 金九百円

一 日本森林係ル出品 金九百円

一 日本森林係ル出品 金九百円

一 日本森林係ル出品 金九百円

中央內政部

旅費

金五百元

備料

金四百元

材料購入費

金四百元

西南地方部

金四百元

東內政部

金四百元

旅費

金四百元

備料

金四百元

材料購入費

金四百元

臺灣地方部

日本北內政部

旅費

金五百元

備料

金五百元

材料購入費

金拾元

家畜類解剖模型標本

金五百元

內

壳組

金貳百元

壳組

金百五十元

壳組

金百五十元

家畜類標本

金貳百八十元

內

雞犬類

金百八十元

頭蓋骨寫真類

金百元

米類標本

金四百五十元

農具標本

金貳百元

工藝作物及該製製造品標本

金百五十元

右平均一五、費用三俵物ハ式拾八円其他ハ式拾四ニシテ合計
金拾八拾四ニシテ

一新案

拾五

製造型

拾五

一製造各様铸造物

拾五

右平均一五、費用造型ハ拾四铸造物ハ五拾四ニシテ合計
金壹千五百也

製造ハ便宜ハ同トシテ新案ハ式拾五ニシテ合計金拾五
遷ハ順序ヲ示シ新案ハ式拾五ニシテ合計金拾五

海軍海陸工科ハ式拾五ニシテ合計金拾五

一製造

拾五

右平均一五、費用油漆類ハ拾五描金類ハ拾五

描金類

拾五

右平均一五、費用油漆類ハ拾五描金類ハ拾五

一新案

拾五

油漆類

拾五

描金類

拾五

右平均一五、費用油漆類ハ式拾四描金類ハ九拾五

右平均一五、費用油漆類ハ式拾四描金類ハ九拾五

右平均一五、費用油漆類ハ式拾四描金類ハ九拾五

右平均一五、費用油漆類ハ式拾四描金類ハ九拾五

右平均一五、費用油漆類ハ式拾四描金類ハ九拾五

鍍金料

一製造

拾五

板面起物

拾五

女子高等師範學校

授業用器具及生徒成績物

計

一三〇〇〇〇
二二〇〇〇〇

教科書及練習簿

校章及校旗

南條簿

本誌計

一〇〇〇〇〇〇
三二〇〇〇〇
四二〇〇〇〇

高等商業學校

天橋本首

東京工業學校

出品特許

染色機織

實業地特色備

海外用途

海外用途

計

計

計

二六〇〇〇〇〇

一五〇〇〇〇〇

一三〇〇〇〇〇

二〇〇〇〇〇〇

巴里萬國大勸業會出品展覽券

小野學

東京盲立學校

東京美術工專

校舍圖及寫真及一覽類

教授用品

標本及成績物

計

計

普通地產計

家屋表

木造耐震家屋

本會報告書

計

帝國氣象事業

風土編

氣象風報

一三〇〇三

三三四

二四五二

七九九

四一八〇

九七九

一四五〇

一六〇〇

五〇〇〇

四五二〇

二二五〇

六九八

五八四二

東京市立盲立學校

| | | | | | |
|--------|--|--------------------|------|--|--|
| 中央氣象臺 | | 氣象年月報其他說明書 | 6250 | | |
| | | 壓力及風向圖、湿度及晴陰圖 | 744 | | |
| | | 雨量圖、溫度較差圖 | 225 | | |
| | | 高氣壓進路圖、低氣壓進路圖 | | | |
| | | 地震圖、天候圖及測候所 | 114 | | |
| | | 在地一覽圖 | | | |
| | | 荷造運費 | 77 | | |
| 東京工芸學校 | | 繪畫彫刻陶磁器、時繪、染漆料、成績物 | 435 | | |
| 東京工業學校 | | 荷造運費 | 418 | | |
| 東京工芸學校 | | 標本及成績物 | 476 | | |
| 東京工芸學校 | | 標本及農業教育說明書類出版費 | 250 | | |
| 札幌農學校 | | 標本及成績物 | 135 | | |
| | | 計 | 1555 | | |

陸軍省事務局

| | | | |
|-------|------|--|--|
| 陸軍省 | 4000 | | |
| 海軍省 | 5000 | | |
| 外務省 | 2055 | | |
| 司法省 | | | |
| 貴族院 | | | |
| 眾議院 | | | |
| 會計院 | | | |
| 行政裁判所 | | | |
| 內閣 | | | |

陸軍省事務局

| | | | | | |
|-----|-----|--------|--------|--------|---|
| 事 | 由 | 支出豫定額 | 補助約束額 | 残 | 額 |
| 西新画 | 西新画 | 五〇〇〇〇〇 | 六〇〇〇〇〇 | 一八〇〇〇〇 | 〇 |
| 西新画 | 西新画 | 五〇〇〇〇〇 | 六〇〇〇〇〇 | 一八〇〇〇〇 | 〇 |
| 西新画 | 西新画 | 五〇〇〇〇〇 | 六〇〇〇〇〇 | 一八〇〇〇〇 | 〇 |
| 西新画 | 西新画 | 五〇〇〇〇〇 | 六〇〇〇〇〇 | 一八〇〇〇〇 | 〇 |

| | | | | | |
|--------------|--------------|--------|--------|--------|---|
| 事 | 由 | 支出豫定額 | 補助約束額 | 残 | 額 |
| 日本彫刻五點補助 | 日本彫刻五點補助 | 三〇〇〇〇〇 | 六〇〇〇〇〇 | 一八〇〇〇〇 | 〇 |
| 高村光雲 | 高村光雲 | | 六〇〇〇〇〇 | | |
| 竹内久一木彫人物一個 | 竹内久一木彫人物一個 | | 六〇〇〇〇〇 | | |
| 山田鬼首木彫農夫一個 | 山田鬼首木彫農夫一個 | | 六〇〇〇〇〇 | | |
| 石川光明牙彫愛猫人物一個 | 石川光明牙彫愛猫人物一個 | | 六〇〇〇〇〇 | | |
| 旭王山牙彫髑髏一個 | 旭王山牙彫髑髏一個 | | 六〇〇〇〇〇 | | |

高村光雲

| | | | | |
|-------------|--------|-------|-------|----|
| 出正山本領國銀一圓 | 六〇〇〇〇 | | | |
| 出山本領國銀一圓 | 六〇〇〇〇 | | | |
| 出山田與言本領國銀一圓 | 六〇〇〇〇 | | | |
| 出山内久一本領國銀一圓 | 六〇〇〇〇 | | | |
| 出高野光親 | 六〇〇〇〇 | | | |
| 日本領使五項合計 | 三〇〇〇〇〇 | 補助約束額 | | |
| 由 日本領使 | 支出額 | 合計 | 六〇〇〇〇 | 殘額 |

國取博覽會事務局

| | | | | |
|----------|--------|-------|--------|----|
| 西洋彫刻三點補助 | 一八〇〇〇〇 | 補助約束額 | | |
| 事 由 | 支出額 | 合計 | 一八〇〇〇〇 | 殘額 |

西洋彫刻三點補助

| | | | | | | | |
|------|---|---|-------|----|----|---|-------|
| 西新湖院 | 事 | 由 | 支出 | 補助 | 約束 | 殘 | 額 |
| | | | 一八〇〇〇 | | | | 一八〇〇〇 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

建築圖按

事

由

支出豫定額

補助約束額

殘

額

建築圖按五點補助之

一五〇〇〇

一五〇〇〇

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--------|------|-----|-----|---|------|---|---|---|---|
| 池田不負前槍 | 見后 | | | | 二九〇〇 | | | | |
| 白山松竹槍 | 未紅原風 | | | | 二九〇〇 | | | | |
| 加納夏雄 | 赤龍 | | | | 六〇〇〇 | | | | |
| 海野勝 | 夏彦風雨 | 類一面 | | | 一〇〇〇 | | | | |
| 海野美盛 | 龍銀 | 彫佛師 | 一個 | | 一〇〇〇 | | | | |
| 香川勝廣 | 龍銀 | 國花瓶 | 一個 | | 一〇〇〇 | | | | |
| 因崎常 | 屏鏡 | 金 | 二面 | | 二二五〇 | | | | |
| 鈴木長吉 | 古鏡 | 金 | 一面 | | 六二五〇 | | | | |
| 將徳 | 高東 | 刺繡 | 掛一枚 | | 一五〇〇 | | | | |
| 飯田新七 | 薩 | 刺繡 | 掛一枚 | | 一五〇〇 | | | | |
| 川島甚兵衛 | 銀錦 | | | | 三〇〇〇 | | | | |
| 西村徳三 | 川 | 雷 | 神 | 友 | 神 | 深 | 地 | 性 | 致 |
| 飯田新七 | 宿 | 士 | 少 | 因 | 友 | 神 | 深 | 地 | 性 |

| | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|---|---|----|----|----|----|
| 片田源 | 節 | 以 | 甲 | 雅 | 嵌 | 見后 | | | |
| 鹿島 | 一 | 布 | 金 | 屬 | 雅 | 嵌 | 見后 | | |
| 山田長 | 節 | 蓮 | 因 | 練 | 鉄 | 花 | 瓶 | 一個 | |
| 黒川宗 | 勝 | 丹 | 頂 | 雀 | 里 | 物 | 一 | 番 | |
| 板尾新 | 三 | 郎 | 鐵 | 孔 | 雀 | 置 | 物 | 一個 | |
| 川邊 | 池田 | 廉島 | 四 | 春 | 製 | 作 | 見 | 合 | 月 |
| 深海 | 加納 | 三 | 春 | 九 | 七 | 月 | | | |
| 紹美 | 深 | 結 | 着 | 銅 | 清 | 水 | 因 | 花 | 瓶 |
| 後友 | 貞 | 行 | 木 | 彫 | 琢 | 馬 | 豆 | 物 | 一個 |
| 京都 | 瑛 | 美 | 合 | 着 | 銘 | 厨 | 子 | 桐 | 一個 |
| 嘉集 | 岡 | 按 | 十三 | 点 | 一 | 賞 | 金 | | |

内海

富永野郎

| | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

室内裝飾

室内裝飾

| 事由 | 支出豫定額 | 支拂額 | 残額 | 額 |
|-------------|--------|--------|---------|-----|
| 日本西洋室内裝飾致墨貫 | 三三〇〇〇〇 | 三三五〇〇〇 | 三三三三〇 | ... |
| 福地復一才面製図料 | | 三六五〇〇〇 | ... | ... |
| 同才二面製図料 | | 二六四九〇〇 | 三三三七〇五〇 | ... |
| 前田健次郎茶屋製図料 | | 六五〇〇〇 | ... | ... |
| 塚本清西洋室製図料 | | 一三〇〇〇 | ... | ... |
| ... | | 一〇〇〇〇 | ... | ... |
| ... | | 一〇〇〇〇 | ... | ... |
| ... | | 一〇〇〇〇 | ... | ... |
| ... | | 一〇〇〇〇 | ... | ... |
| ... | | 一三〇〇〇 | ... | ... |

室內裝飾

| | | | | | | | | | |
|------------|---|--------|--------|---|---|--------|--|--|--|
| 對平紙西軒室裝圖每 | | | | | | | | | |
| 何田對平紙室裝圖每 | | | | | | | | | |
| 何田二田裝圖每 | | | | | | | | | |
| 對平紙一六田裝圖每 | | | | | | | | | |
| 日本西軒對平紙裝圖每 | | | | | | | | | |
| 事 | 由 | 支出豫定額 | 支拂額 | 殘 | 額 | | | | |
| 室內裝飾 | | 三三〇〇〇〇 | 三六五〇〇〇 | | | 三三三〇〇〇 | | | |

買上品

| | | | | | | | | | |
|-------------|---|--------|-------|---|---|---------|--|--|--|
| 共進會展覽會出品買上充 | | | | | | | | | |
| 水彫鴉一番 | | | | | | | | | |
| 臘銀牧童一個 | | | | | | | | | |
| 繪畫致城歸途、四一枚 | | | | | | | | | |
| 繪畫平和、四一枚 | | | | | | | | | |
| 繪畫菊、四一枚 | | | | | | | | | |
| 繪畫羅浮、四一枚 | | | | | | | | | |
| 繪畫聽法、四一枚 | | | | | | | | | |
| 繪畫家鴨、四一枚 | | | | | | | | | |
| 事 | 由 | 支出豫定額 | 支拂額 | 殘 | 額 | | | | |
| 展列品買上 | | 一五〇〇〇〇 | 四〇〇〇〇 | | | 一三七一五〇〇 | | | |

富年特許會

| | | | | | | | | |
|-------|---|------|--------|----|--------|----------|--|--|
| | 由 | 支出總額 | 支拂並約束額 | 殘額 | | | | |
| 繪圖器一具 | 由 | 支出總額 | 支拂並約束額 | 殘額 | 130000 | 13414000 | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 180000 | | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 100000 | | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 140000 | | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 110000 | | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 440000 | | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 420000 | | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 400000 | | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 110000 | | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 110000 | | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 110000 | | | |
| 繪圖器一具 | | | | | 110000 | | | |

| | | | | | | | | |
|--------------|---|------|--------|----|---------|----------|--|--|
| | 由 | 支出總額 | 支拂並約束額 | 殘額 | | | | |
| 諸機械諸具模型標本類補助 | 由 | 支出總額 | 支拂並約束額 | 殘額 | 2250000 | 22460000 | | |
| 募集國稅二点賞金 | | | | | 2000000 | | | |
| 內務省 | | | | | 2000000 | | | |
| 陸軍省 | | | | | 2000000 | | | |
| 海軍省 | | | | | 2000000 | | | |
| 文部省 | | | | | 2000000 | | | |
| 逓信省 | | | | | 2000000 | | | |
| 農商務省 | | | | | 2000000 | | | |
| 官內省 | | | | | 2000000 | | | |
| 陸軍省並海軍省 | | | | | 2000000 | | | |
| 陸軍省並海軍省 | | | | | 2000000 | | | |
| 陸軍省並海軍省 | | | | | 2000000 | | | |

支拂並約束額

育蠶出品

| | | | | | |
|-------------|-------------|------------|--|------------|--|
| 農商部水產局(庚) | 1,300,000 | 12,900,000 | | | |
| 全水產調查所(庚) | | 16,000,000 | | | |
| 文部省(庚) | | 2,700,000 | | 10,500,000 | |
| 新羅道知事會(庚) | 1,000,000 | | | 11,000,000 | |
| 同治道 | | 500,000 | | 10,000,000 | |
| 新靈道知事會 | | 6,000,000 | | | |
| 蔚山道 | | 800,000 | | | |
| 海豐道 | | 1,000,000 | | | |
| 牙山道 | | 1,000,000 | | | |
| 文島道 | | 2,000,000 | | 1,800,000 | |
| 在道儒(古)等道(古) | 110,000,000 | | | | |
| 由 | | 12,000,000 | | | |
| 加 | | | | | |
| 總計 | | | | | |

附註

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

附註

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

臨時博覽會事務局

臨時博覽會事務局告示第...號

（明治三十五年五月一日）

美術品 藝術工藝品 機械工具類 展覽會
共進會 又... 評會等 於... 優等品 認
出陳... 特... 當局 於... 又... 相
當 補助... 與... 日... 該... 諸
會 開場前凡三十日 以內 當局 函出

明治三十五年五月一日

告示

臨時博覽會總裁官 鈴木重信

臨時博覽會事務局

告示

臨時博覽會事務局

臨時博覽會事務局告示第貳三號

（明治三十年五月一日 官報第4104号）

美術品、美術工藝品、機械工具類、展覽會
共進會又ハ品評會等ニ於テ優等品ト認
ルモノハ明治三十年巴里萬國大博覽會ハ
出陳ノタメ特ニ當局ニ於テ之ヲ買上ケ又ハ相
當ノ補助ヲ與フヘキニ付前記ニ該當スル諸
會ハ開場前凡三十日以内ニ當局ハ届出ヘ

明治三十年五月一日

臨時博覽會總裁伯爵大隈重信

臨時博覽會事務局

臨時博覽會事務局告示第九號

會、開對四月二十日、六月、當同、由出、
當、新明、與、之、中、自、同、等、
出、對、之、對、當、同、共、之、其、上、又、財、
共、進、會、又、品、集、會、後、共、對、新、品、之、
美術品美術工藝品、對、於、工、具、藝、之、展、覽、會、
臨時博覽會事務局告示第九號
(臨時博覽會事務局告示第九號)

臨時博覽會事務局告示第九號

明治三十二年五月十三日
臨時博覽會總裁金子堅太郎
美術作品募集鑑査ニ関スル規程左、
通相定ム

美術作品募集鑑査ニ関スル規程

一、來ル明治三十二年巴里萬國大博覽會美術
館へ出陳ノ為メ汎ク美術作品ヲ募集シ出
品規則第六條ニ基キ之ヲ鑑査セシメ其撰定
ニ付テハ中央優等品、之ヲ買上ゲ又、之ヲ補助

臨時博覽會事務局

金ヲ與フベキニ付來ル明治三十五年八月二日ヨリ
 左五日迄ニ東京市上野公園内元博覽會
 第五號館へ出陳スルモノハ佛國事務局
 但此期限ニ後クルモノハ佛國事務局
 送付スベキ佛文本目錄ニ編入スルコト能
 ハサルヲ以テ出品ヲ許サズ
 二出品部類第一部第七八九十類へ出願ノ者
 未ダ出品概目錄ヲ差出サル者ト雖モ右
 類ノ鑑査ヲ受クルヲ得ベシ
 美但既出品概目錄ヲ差出タル者ハ其品目
 明ク変更シ新志匠ノ作品ヲ差出スモ妨ケヤシ
 三鑑査ヲ受クル者ハ既出品概目錄ヲ差出
 タル者ト否トヲ問ハズ總テ改正書式ニ從ヒ新

205

一出品概目錄ヲ調製シ道府縣廳ヲ經テ明
 治三十二年七月一日迄ニ臨時博覽會事務局
 へ差出スベシ
 但出品概目錄用紙ニ直ニ事務局へ郵便
 端書ニテ請求スルモ差支ヤシ
 四繪畫類ノ額面ニ仕立タルモノニヤラザレバ鑑査ヲ
 受クルヲ許サズ
 但額面可成寸法ノ過大ナラザルヲ要ス
 五彫刻類ニ從來美術工藝品トシテ出品出願
 セシモノ内本人ニ於テ出品部類第一部第
 九類ニ屬スルト認ムルモノハ鑑査ヲ受クベシ
 六建築術ノ圖面及雜形等ニ止ムルモノトス
 七鑑査ヲ受クベキ作品ノ點數一人ニ自五點

六 超三ヘカラス

但し教點相集り一作品ヲ成スモノハ此限リ

アラス

八 鑑査ヲ受ヘキ作品ノ尙造及性復運搬
止 費ハ總テ本人ノ自辨タルベシ

凡 覽會ハ本會ニ出テ入ルモノハ此限リ

二 覽會ニ出テ入ルモノハ此限リ

凡 覽會ニ出テ入ルモノハ此限リ

凡 覽會ニ出テ入ルモノハ此限リ

凡 覽會ニ出テ入ルモノハ此限リ

凡 覽會ニ出テ入ルモノハ此限リ

凡 覽會ニ出テ入ルモノハ此限リ

凡 覽會ニ出テ入ルモノハ此限リ

明治三十九年五月十九日

臨時博覽會事務局告示第一號

明治三十九年五月十九日
官報第四千四百六十三號

明治三十九年五月十九日
臨時博覽會事務局告示第一號

録ノ品種數量ヲ左ノ各項ニ依リ削減ヲ加フ

ハシ

金子堅太郎

臨時博覽會總裁

第一 巴里萬國大博覽會事務局ニ於テ本邦出品

ニ對シ配當シタル陳列所面積狹少ナル為

ル出品高ヲ削減スルノ必要アルヲ以テ告示

第二 第五種第一ノ出品人資格及出品

數量ノ制限ニ基キ出品概目錄ヲ差出

第二 出品高ノ削減ニ極メテ公平ヲ要スルヲ以テ
 陳列所ノ面積ト出品物ノ數量トヲ比較
 其面積ヲ各部類ニ分配スルハ勿論ナレトモ
 尚ホ國益上ノ輕重出願ノ多寡及形体ノ
 大小等ヲ斟酌シ各部類ニ配當スルキ坪數
 ヲ定メ出品高ヲ減少セシム
 第三 右削減ノ上ト雖モ陳列所現場ノ都合ニ依
 リ尚ホ出品物多數ニ過ルトキハ出張事務
 官ニ於テ更ニ出品高ヲ減少セシムルコトアルハ
 即チ之但シ本項ノ場合ニ於テ品種複雜ノモノ又
 製作拙劣ナルモノ則チ削減スルハ
 第四 巴里萬國大博覽會事務局ニ於テ本邦出

品ニ對シ配當シタル陳列所面積左ノ通りナル
 ヲ以テ各部類ニ配當スルニ當リ之ヲ以テ標
 準トス

| | | |
|--------|------------|---------|
| 第一 教育館 | 第一部 教育 | 九拾六坪餘 |
| 第二 美術館 | 第一部 美術 | 未定 |
| | 第四部 機械 | 四拾六坪餘 |
| | 第五部 電気 | 三拾坪餘 |
| | 第六部 土木 | 六拾六坪餘 |
| | 第七部 農林 | 二百四拾六坪餘 |
| | 第十部 食料品 | 三拾坪餘 |
| | 第十一部 礦業 | 三拾坪餘 |
| | 第十三部 絲物及織物 | 三百七拾坪餘 |
| | 第十四部 化學工業 | 三拾坪餘 |
| 第一 園藝館 | 第六部 植物 | 未定 |

富津博覽會事務局

| | | | | |
|----|-----------|------|-----------|-------------|
| 第一 | 山林漁業館 | 第九部 | 山林漁業 | 六指志坪余 |
| 第二 | 「アリアリ」館 | 第十二部 | 裝飾及家具 | 六指志坪余 |
| | | 第十五部 | 各種工業 | |
| 第三 | 殖民館 | 第十七部 | 殖民法 | 未定 |
| 第四 | 陸海軍館 | 第十八部 | 陸海軍 | 未定 |
| 第五 | 萬國會議堂 | 第十六部 | 社會經濟 | 十五坪余 |
| | 一 トロカデロ園庭 | | 日本美術歴史参考館 | 六百三指六坪余 |
| | | | 喫茶店及販賣店 | |
| 第六 | 右ノ面積ヨリ | | 道路空地階梯等 | 要スル部 |
| 第七 | 分ヲ除クト | | 物品陳列架 | 供スル場純ハ |
| | | | 右面積ノ四分一 | 見做サ、ルハ力口又事務 |

出品數量削減ニ付道廳府縣知事ハ、各品目ノ
 内割スルニ依リ、

佛國巴里萬國大博覽會出品ノ許否ニ就テハ
 目下夫々調査中ニ在リ、今尚出品概目録
 ノ一部分進達延期中、向有之為ニ全体ニ涉
 ル、實況ハ知悉シ難キ次第ニ在リ、大勢ハ豫メ
 認知シ得ヘキヲ以テ、不日出品願ニ對シ、許否ノ處分
 ヲ施行可致ス、然ルニ出品ノ品種并其數量、
 多ク廣ク豫想外ニ逸シ、荷造總噸數ハ各部類ヲ
 合算スルトキハ、無慮数千噸以上ニ達シ、比等夥
 多ノ出品ヲシテ、有限場所ニ對シ、到底排列シ得

カルコト明瞭ナレハ其數量ニ削減ヲ加フル外他ニ方
法無之儀ニ有之儀
抑該會場ノ規模如何ト云フニ設計素ヨリ宏
圖ナリト雖モ彼年八百九十三年ニ於ル北米合衆
國際博覽會ノ如ク一大公園ヲ基礎
セシ又更ニ之ヲ擴張シ附近市街新興ヲ招致
セシカ為メニ荒蕪ノ土地ニ繩墨ヲ施セタルモノトハ趣
ク大ニ異ナル所アルヲ以テ其廣狹ニ就テ彼是同一視
スル能ハサル情況ニ自然ルニ本邦ニ於ル産業ハ
數年以來著シク振起シタルモノ有之各部門
孰レモ開闢世界博覽會ノ時ニ於テ使用シタルヨ
リモ多少ノ廣濶ナル面積ヲ要スル勿論ニ付量ニ
當局ヨリ充分ノ面積ヲ要求シ置居處ニ再考

佛國ヨリ配當面積ノ確定通告ニ接シ得タル
部分ニ就テ見ルモ世界各國ノ意氣亦頗ル旺
盛ナル為メ申請ノ面積ヲ減少セラレタルハ勢ニ免ル
ヘカラサル儀ニ有之該當局者ニ於テモ會場總面
積ノ不事ニモテ甚ダ寬カラサルヲ為メ本邦ノ
希望ヲ充スルコト能ハサルヲ遺憾ト致ス故ニ今マ
更ニ地區ノ増加ヲ要求セントスルニ認諾ヲ得ラルヘキ見
込也之就テハ出願ノ出品ニ對シ標本公示ヲ主
眼トシ削減ヲ施スノ一途アルニモ今茲之ヲ削
減セントスルニ當リ單ニ一定率一標準ヲ以テスヘキ
ニテラス先ツ國產トシテノ輕重產出額ノ多少寬房ヲ
参照スヘキハ勿論海外ニ對スル商品トシテノ適否
需用ノ如何ヲ熟考シ且出願人數並出品ノ

多少ノ酌量ニ示一部類中ニ於ル種別ノ均勢ヲ
視而シテ更ニ之ヲ各部門ノ面積ノ大小ニ照合スルカ如
キ種ノ方面ヨリシテ慎重嚴精細之ヲ查覈スヘケル
ハ其結果トシテ或ハ甲ノ品種ニ頗ル削減ヲ加ヘ乙ノ
品種削減ノ輕キモノニ可有之是ハ畢竟國家
ノ富源即生産力ヲ汎ク表彰シ陳列上ノ体
裁ヲ保持セカ爲ニ後得共詳細ニ告示第
十號ニ掲載之通リニ付彼是等參酌出品
詩可ノ通知前ニ於テ右之次第依管下出
品人ノ懇篤諭示相成度比段申進也
明治三十二年五月十九日
副總裁 名 齋 邦 邦

道廳府縣知事宛

（埼玉茨城岩手宮城秋田山形山口
巴里愛媛鹿兒島宮崎）ノ十縣ノ左ノ追
出書ヲ加テ
追不貴縣ヨリ申進達之分ニ對シテハ多少
削減相加ヘ直ニ之可有之直ニ其特
申進度指シ儀無之他府縣ノ通牒ニ
席ヲ以陸心悟述ニ申進度以才、長也

臨時傳覽會事務局

茅二 海外品ヲ模造シ又ハ模倣シタル商標ヲ附シ

タル物品ハ出品ヲ許サズ

茅三 出品物ノ内腐敗ヲ發見シ又ハ陳列所ノ

体裁ヲ亂雜シタルカ如キ物種ハ出張事

務官ニ於テ取棄又ハ展列セシメサルベシ

アルベシ

茅四 絲類・織物類ハ審査用ノ為ノ一品毎ニ

同種ノ見本ヲ添フベシ

同種ノ生絲類ハ凡ソニ及内外其他ノモノハ品

性質ニ因リ適宜ニ加ルベシ

同種ノ織物類ハ幅其儘ニ長ハ凡ソ三尺ニ對

シテ見本ニハ必ス出品者ノ氏名ト物品ノ番

號トヲ附スベシ

彈トヲ附スベシ

茅五 同種ノ織物ニシテ單ニ深色縞柄等ヲ異ニ

スルモノハ其内ノ一種ヲ撰ビ出品ニ錄ハ見

本ニ止ムベシ

茅六 織物類ハ審査ノ節表裏共驗査スルノ

例ナルヲ以テ可成有形ノ儘出品スベシ

但シ裏打シ又ハ家具ニ仕立テタルモノハ

織物ヲ應用シテ作りタル物品ニ屬スベキ

モノト心得ベシ

茅七 統計表・圖面及書籍類ノ出品ハ可成佛

文ニ作ルベシ

但シ繪本及雜誌類ハ此限リニアラス

茅八 寫真類・出品ノ帖又ハ額面ニ仕立ムベシ

明治三十四年三月

但し額面寸法過大類は様注意

スヘン本又野ニニ

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

三十一年三月十八日施行

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

Blank lined area on the right page, likely containing a report or official communication.

三十一年三月十八日施行

Main body of handwritten text on the left page, detailing administrative matters and dates.

梅野中...

分(社)長名

大日本看護会

東京化学会

日本国産会

日本山本会

日本波業会

日本製糖会

日本造纸会

日本印刷会

女子教育会

国風 音出会

二十二年三月十八日發行

来明法三十二年皇元大改元意ハ兼テ本邦ニ於テモ復同成其文抑

今四ノ協定会ハ佛國政府ニ於テモ銀子ヲ施設ノ壮大完備ヲ期スル

様也之欲ニテ本邦ノ地位ヲ展スルニ三十年才文化日ニ進ニ加フルニ

時戦勝ノ偉威ヲ以テ其文武共ニ宇内右國ノ注視スル所ニカ

是以上其出品ニ就テハ殊ニ力ヲ用テ其進歩ヲ速ク進歩ヲ以テ益

國光榮揚貿易擴張ニ基キテ其快活進歩ヲ希望スルニ現ニ官民

出外清浄ノ一ニ就テハ夫々其頭古運兵優ニ其進歩スルニ貴

分(社)ノ以テ本邦ニ於テハ事業ノ發達進歩ヲ目的トシ

之ヲ以テ其進歩ノ為メニ其事業ノ發達進歩ノ信譽本邦出外上

之先取ノ源ニシテ其進歩ノ為メニ其事業ノ發達進歩ノ信譽本邦出外上

其進歩ノ源ニシテ其進歩ノ為メニ其事業ノ發達進歩ノ信譽本邦出外上

其進歩ノ源ニシテ其進歩ノ為メニ其事業ノ發達進歩ノ信譽本邦出外上

其進歩ノ源ニシテ其進歩ノ為メニ其事業ノ發達進歩ノ信譽本邦出外上

其進歩ノ源ニシテ其進歩ノ為メニ其事業ノ發達進歩ノ信譽本邦出外上

其進歩ノ源ニシテ其進歩ノ為メニ其事業ノ發達進歩ノ信譽本邦出外上

其進歩ノ源ニシテ其進歩ノ為メニ其事業ノ發達進歩ノ信譽本邦出外上

日本地理学协会... 日本气象学会... 日本地学协会... 日本地理学协会...
日本地理学协会
日本气象学会
日本地学协会
日本地理学协会

日本地学协会
日本地理学协会
日本气象学会
日本地学协会

日本地学协会
日本地理学协会
日本气象学会
日本地学协会

日本地学协会
日本地理学协会
日本气象学会
日本地学协会

又略

Handwritten text in a cursive script, likely representing a list or detailed notes, covering most of the page.

巴里...

Main body of handwritten text on the left page, starting with '巴里...' and continuing down the page.

...

...

...

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or official document, written on a page with vertical red lines. The text is arranged in several lines, starting from the right side of the page and moving left.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or official document, written on a page with vertical red lines. The text is arranged in several lines, starting from the right side of the page and moving left. The script is dense and fills most of the page.

Red vertical text on the left margin of the page, possibly a date or a reference mark.

千九百年博覽會總則第四十八條第一節ニ曰ク
當代博覽會ノ出品ニ就テハ其荷造、搬送、荷解、荷函
、保存、陳列、再荷造及返送ニ要スル費用ハ總テ出品
人ノ負担タルベシ

同條第一節中陳列所費用ニ付テハ別ニ解釋ヲ
附セザルヲ以テ之ヲ補足スル為メ左ノ如ク其費目ヲ確定セリ
共同ノ通路以外ニ在ル床板、敷設及ヒ總務局ニ於テ定
ムル地方案ニ基テ隔壁、回廊、天幕、天井、飾
、~~其~~其他陳列具等ヲ構設シ及ヒ裝飾ヲナスノ費
用ハ都テ陳列費目内ニ包含スルベシ
同條中又之ニ附加テ白助費、新ニ付保給會ニ面
~~目~~但ニ床板、隔壁、天幕、天井ニ就キテハ其齊一ヲ保
ツト其總費ヲ省クトノニ點ヨリ事務局自ラ其工

事ノ一部若クハ全部ヲ經營シ追テ該委員會諸官
廳及外國事務局ヲシテ其費額ヲ辨償セシム
外國事務局ハ豫算上必要ノ為メ右辨償スベキ出費
額ヲ知ルニ切ナリキ
此事項ニ関シ確實ノ見積ヲ得タルヲ以テ當掛ハ地坪
一メートル平方一付五十法ヲ以テ標準トセバ他日大ナル
邊算ナカルベシト通知セリ然ルニ右通知以來陳列所
建設ノ圖面等整頓セシニ依リ稍々確實ナル概算
ヲ得タリ但シ意外ノ事情ハ保證セサルモ多分前記
標準ノ半額ヲ以テ右費用ヲ支辨スルニ足ルベキ
見積ナリ今茲ニ之ヲ費下ニ報道スルヲ得タルハ余ノ
満足ニ堪ヘザル所ナリ尤モ此概算ハ吾人カ保証シテ
必ス実行ニ得ハキト認メガレハ蓋シ之ヲ超過スルナキ

博覽會事務局

八國ノ信ズル所ナリ

林事務官長注意

本文通知ニ依ルバ我が陳列所ノ面積凡ソ五千五百平方メートルニ對シ一平方メートルニ付佛貨計拾五法即チ我が指円ト見積ルハ新クニ五萬五千圓ノ支出ヲ要スル義ニ付為御参考申添

此等點ニ關シ郵費ノ見計ル點ニ對シテハ新舊海關稅
我國海關稅則ニ據リ算上ノ手續一覽ニ付譯附スルト出費
二國及我國海關稅則ノ義其費賤ニ降附スルニ付保
費ノ是格義ハハ金幣ノ點數ニ對シテ總務委員會書記

仙國(廢案)

諏訪ノ命令也

- 一 其興行ニ於テ我國ノ体面ヲ汚レ又ハ名譽ヲ損シ其他不都合ヲ及ボラズトシテ必要ナル事務局ニ於テ之カ中止ヲ命スル
- 二 其興行ノ於人ヲ提出シ保ル款及方案等ノ申立ニ違背スルカラス
- 三 其興行ノ總務員ニ關シ必要トシテハ其度更差ハ訂正ヲ命スルコトナシ
- 四 其興行ニ於テ備入レリハ日本人ノ特別ニ在念及物類ノ廢棄ハ閉場ノ後ニ於テ之障ヲ生セサルメ總務員計上ノ額内ノ事務局ノ款ヲ盡キ事務官ヲ一並ニ其備入日本人之押返ナリトス

協定書

- 但中止月令... 坊々ニ於テモ 本次ノ旅費支出ニ於キ
- 異議ヲ申立ヨルコトヲ得久...
- 五 其ノ興亡ニ於テ其指定ノ...
- 四 其ノ興亡ニ於テ...
- 六 其ノ興亡ニ於テ...
- 三 其ノ興亡ニ於テ...
- 七 其ノ興亡ニ於テ...
- 二 其ノ興亡ニ於テ...
- 八 其ノ興亡ニ於テ...

(要案)

仙國政府

仙國政府、打合スル件

- 一 伊澤新三郎 織物標幟ノ件
- 二 酒税拵方ノ件

仙國政府、打合スル件

一 伊澤新三郎 織物標幟ノ件

二 酒税拵方ノ件

...

高寺博覽會事務局

一 領收証ハ係ル出当受取人タルコトヲ要ス
 一 着信止ム得ル事故ニ依リ出当本人ノ領收証ヲ徴スルコトヲ得ル
 一 出当本人得ル事由ヲ詳述セラル仕拂証原セラル以テ請求セラレタシ其形
 式(第一号)ノ如シ
 一 総テ物件購費ニ関スル領收証ハ可成毎品ノ種類、箇數ヲ掲
 ヲ其單價ヲ示セタシ但數箇ニ付代價ヲ定メタルモノハ其箇數ニ
 對テ代價ヲ割引シ原モノノ斤ハ其割引後全ク記入セシメラレタシ
 但普通品ニ付斤ノ物件ノ購買ハ其所要ノ目的又ハ使途ヲ附箋
 或ハ附記シ置カレタシ
 一 外國支領收証ハ係ル其及派文ヲ添付セラレタシ
 一 外國貨幣ヲ以テ仕拂タルモノハ其換金率全額及相拂ヲ必ス派文

一 領收証ハ係ル出当受取人タルコトヲ要ス
 一 着信止ム得ル事故ニ依リ出当本人ノ領收証ヲ徴スルコトヲ得ル
 一 出当本人得ル事由ヲ詳述セラル仕拂証原セラル以テ請求セラレタシ其形
 式(第一号)ノ如シ
 一 総テ物件購費ニ関スル領收証ハ可成毎品ノ種類、箇數ヲ掲
 ヲ其單價ヲ示セタシ但數箇ニ付代價ヲ定メタルモノハ其箇數ニ
 對テ代價ヲ割引シ原モノノ斤ハ其割引後全ク記入セシメラレタシ
 但普通品ニ付斤ノ物件ノ購買ハ其所要ノ目的又ハ使途ヲ附箋
 或ハ附記シ置カレタシ
 一 外國支領收証ハ係ル其及派文ヲ添付セラレタシ
 一 外國貨幣ヲ以テ仕拂タルモノハ其換金率全額及相拂ヲ必ス派文

六号會計帳目及十八号及十九号二十六号二十七月全計控査
 院達第三号規程お添金支辨の取極三洋十六カケ
 公規定の明三三準換に可成りの上支支キ様御座り酒
 製りる候時亦令り御座り申候一重相成り也

(第一節)

月日 仕拂証明書書

月日 仕拂

合符

仕拂証明書書

仕拂

仕拂

一金何程

何品何個

此件貨何程

但三箇に付金何程

但此の換相場差より換算油と別申すも通

右何々、事由に依り、正當本人、領収証を得サリシモ頭

主、通仕辨に候義相違之也

年 月 日

官 氏 名 印

(第二節)

臨時控査會より御座り
 全計控査會より御座り
 全計控査會より御座り

(第六卷)

| 官費外渡金類 | | 支款 | |
|--------|-----|------|---|
| 目 | 節 | 目 | 節 |
| 會費 | 廳費 | 臨時傳覽 | |
| 備品費 | 器具 | | |
| 圖及印刷費 | 備置費 | | |
| 雜費 | 印刷費 | | |
| 合計 | | | |

| | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) |
| 叁拾円 (七十六法) | 叁拾円 (七十六法) | 叁拾円 (七十六法) | 肆拾円 (五十二法) |
| 肆拾円 (五十二法) | 肆拾円 (五十二法) | 肆拾円 (五十二法) | 肆拾円 (五十二法) |
| 肆拾円 (五十二法) | | | |

| | | | | |
|-------|-------|-------|-----|-----|
| 雜給及雜費 | 通行運搬費 | 郵便電信料 | 廣告料 | 器具 |
| 外入接待費 | 雜費 | 備品費 | 備品費 | 器具費 |
| | 備品費 | 備品費 | 備品費 | 備品費 |
| 出支費 | | | | |

| | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 四百円 (千零二十二法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) |
| 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) |
| 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) |
| 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) | 五百円 (千二百七十五法) |

臨時傳覽金類

卷之八

Blank manuscript page with vertical red lines.

Blank manuscript page with vertical red lines.

以下
6 丁
白紙

